

別紙

學校名		學生名		短縮期間		摘要	
下志津陸軍飛行學校	乙種學生	概ネ一月	陸軍航空士官學校第五十四期出身者及陸軍士官學校第五十三期出身者トス	明野陸軍飛行學校	乙種學生	概ネ一月	昭和十六年八月下旬終業豫定ノ者トス
鈴木陸軍飛行學校	乙種學生	概ネ一月	陸軍航空士官學校第五十四期出身者及陸軍士官學校第五十三期出身者トス	濱松陸軍飛行學校	丙種學生	概ネ二月	九月下旬終業豫定ノ者トス
陸軍航空技術學校	丙種學生	概ネ二月		陸軍航空技術學校	乙種學生	概ネ三月	
陸軍航空整備學校	乙種學生	概ネ二月	第二十一回機關學生トス				

陸軍

秘

陸密第一九八一號

(甲)

兵科士官候補生(航空關係ノ者ヲ除ク)ノ陸軍補充令第五條ニ規定スル教育期間短縮ニ關スル
件達

陸軍一般

昭和十六年陸軍豫科士官學校ヲ卒業シタル兵科士官候補生(航空關係ノ者ヲ除ク)ノ陸軍補充令第五條ニ規定スル教育期間ハ概ネ五月ニ短縮ス

昭和十六年七月九日

陸軍大臣 東條英機

陸軍

秘

陸密第一九九一號

(乙)

昭和十六年陸軍經理學校豫科生徒ノ課程ヲ卒業シ經理部士官候補生ヲ命セラレタル者ノ所屬隊ニ於ケル習得期間短縮等ニ關スル件達

陸軍一般

首題ノ件ニ關シ左ノ通定ム

昭和十六年七月十日

陸軍大臣 東條 英機

- 一 陸軍補充令第二十五條ノ二ニ規定スル經理部士官候補生ノ所屬隊ニ於ケル習得ノ期間ハ概ネ三月トス
 - 二 陸軍補充令第二十五條ノ三ニ規定スル經理部士官候補生ノ階級ヲ進ムルニ要スル期間ハ伍長ノ階級ニ進ムルハ入營後概ネ二月ノ後、軍曹ノ階級ニ進ムルハ入營後概ネ五月ノ後トス
 - 三 陸軍補充令施行規則第三十八條ノ六ノ規定ニ依リ師團長ノ陸軍大臣ニ提出スヘキ書類ノ到着期日ハ同條ノ規定ニ拘ラス昭和十六年十月二十五日トス
 - 四 師團長ハ陸軍補充令施行規則第三十八條ノ七ノ規定ニ拘ラス聯隊長ヲシテ第一號ノ規定ニ依ル習得期間ヲ終リタル者ニ對シ昭和十六年十一月一日陸軍經理學校ニ入學ヲ命セシムルモノトス
- 師團長ハ前項ノ規定ニ依リ陸軍經理學校ニ入學ヲ命セシメタルトキハ速ニ陸軍大臣ニ之ヲ報告スヘシ

陸軍

秘

陸密第二〇一三號

(甲)

航空兵團隷下部隊及白城子陸軍飛行學校(教導飛行團ヲ含ム)ノ滿洲及朝鮮相互間ニ於ケル演習實施ニ關スル件達

陸軍 一般

航空兵團隷下部隊及白城子陸軍飛行學校(教導飛行團ヲ含ム)ノ滿洲及朝鮮相互間ニ於ケル演習實施ニ關スル件左ノ通定ム

昭和十六年七月十一日

陸軍大臣 東條英機

航空兵團隷下部隊及白城子陸軍飛行學校(教導飛行團ヲ含ム)ノ滿洲及朝鮮相互間ニ於ケル演習實施ニ關スル件

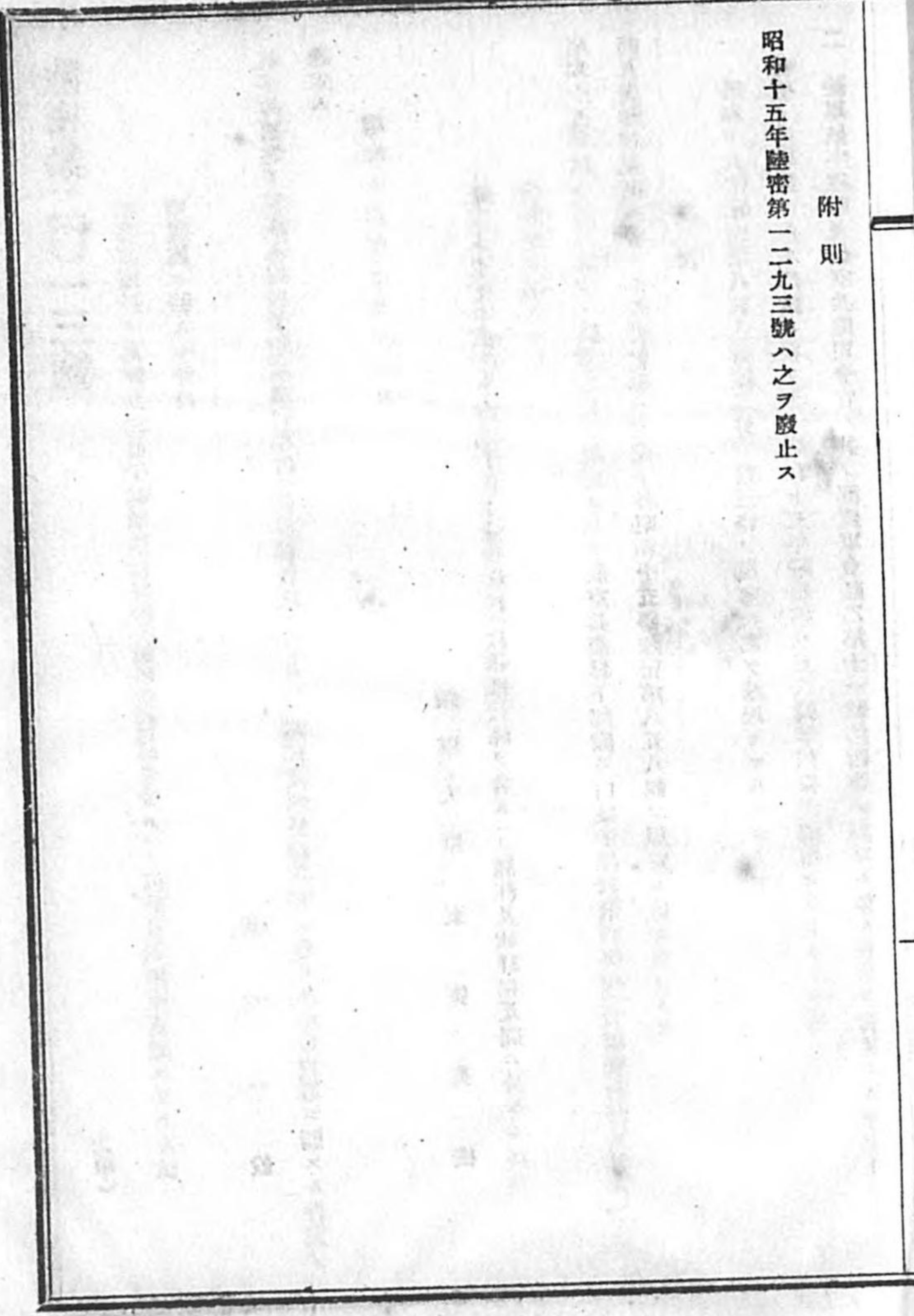
昭和十五年軍令陸乙第十一號第三條ノ規定ニ基ク航空兵團隷下部隊及白城子陸軍飛行學校(教導飛行團ヲ含ム)ノ滿洲及朝鮮相互間ニ於ケル演習實施ハ左記ノ外昭和十五年陸密第八五八號ノ規定ニ依ルモノトス

左記

- 一 昭和十五年陸密第八五八號第二條、第三條ノ規定ハ之ヲ適用セサルモノトス
前項ノ外朝鮮ニ在ル部隊ニ在リテハ昭和十五年陸密第八五八號第四條ヲ適用セサルコトヲ得
- 二 陸軍航空總監及航空兵團司令官ハ其ノ都度軍令陸乙第十一號第四條ノ規定ニ依ル報告ヲ實施スルモノトス

附則

昭和十五年陸密第一二九三號ハ之ヲ廢止ス



四
頁

秘

陸密第二〇四七號

(甲)

軍人軍屬ノ通信取締ニ關スル件陸軍一般へ通牒

昭和十六年七月十二日

陸軍次官 木村兵太郎

時局ニ鑑ミ首題ノ件左記要領ニ據リ七月十三日ヨリ實施スル如ク定メラレタルニ付依命通牒ス

左記

- 一 當分ノ間陸軍一般ノ軍人軍屬(内地、朝鮮、臺灣、樺太及滿洲ノ營外居住者ヲ除ク)ヨリ發スル私通信(通常郵便物、小包郵便物、電信、電話)ハ通常葉書ノ外之ヲ禁止シ且檢閲ヲ嚴重ニス但シ内容ヲ具シ中隊長(之ニ準ズル者ヲ含ム)以上ノ許可檢閲ヲ受ケタルモノハ此ノ限ニアラズ
- 内地、朝鮮、臺灣、樺太及滿洲ノ營外居住者ハ右趣旨ニ鑑ミ私通信ニ關シ嚴ニ戒心ヲ加フルモノトス
- 二 派遣輸送中ニアル軍人軍屬ハ前號ニ拘ラズ一切ノ私通信ヲ禁止ス

陸軍

秘

陸密第二〇六六號

滿洲在勤ノ軍人軍屬ノ家族携行ニ關スル件達

陸軍一般

(甲)

昭和九年陸密第七二七號及昭和十四年陸密第一一六六號ニ依ル滿洲(關東州ヲ含ム)ニ在勤スル軍人軍屬ノ家族携行ハ當分ノ内新ニ許可セサルコトニ定ム

昭和十六年七月十四日

陸軍大臣 東條英機

陸軍

秘

陸密第二〇六一號

陸軍經理學校丁種學生ノ修學期間短縮ニ關スル件中改正ノ件達

昭和十五年陸密第二八〇九號中左ノ通改正ス

昭和十六年七月十四日

「約二月」ヲ「約三月」ニ改ム

陸軍一般 (甲)

陸軍大臣 東條英機

陸軍

秘

陸密第二〇五六號

(甲)

恩給請求ニ際スル履歷書ノ調製ニ關スル件陸軍一般へ通牒

昭和十六年七月十四日

陸軍省副官 川原直一

恩給請求書ニ添附スヘキ公務員履歷書ハ軍ニ於テ調製下附スヘキモノナルハ陸軍ニ於ケル恩給取扱手續第四條及第六條(舊規定第四條、第五條及第七條)ニ明確ナル處近時請求者本人ヲシテ作製又ハ淨寫セシメアル事例尠カラス恩給請求者著増ニ因ル已ムヲ得サル一時的ノ便宜措置ト思料スルモ右ノ者中ニハ之カ作製ヲ更ニ代書業者其ノ他ニ依頼スル向アリ防諜上遺憾ノ結果ヲ招來スルコトナキヲ保シ難キニ付嚴禁アリ度

追テ已ムヲ得サル事情ニ因リ本人ヲシテ淨寫セシムルノ餘儀ナキトキハ軍廳舍内ニ於テ之ヲ爲サシメ原稿等ノ取扱ニ於テモ萬遺漏ナキヲ期セラレ度尙規定ニ依ル履歷書ノ下附ニ付テモ其ノ邊留意アリ度爲念申添フ

陸軍

秘

陸密第二〇五五號

(甲)

携行患者食ノ品種ニ關スル件陸軍一般へ通牒

昭和十六年七月十四日

陸軍省副官 川原直一

昭和十六年度陸軍動員計畫令細則附錄(甲)戰用諸品(兵器ヲ除ク)定數表第三百三十九「糧秣準備携行區分表」備考一二ニ定メラレアル患者食中煉乳、「ビスケット」及水飴ニシテ臨機調辨困難ナル場合ニ在リテハ左記區分ニ依リ代用シ得ルコトニ定メラレタルニ付依命通牒ス

左記

規定品目及數量	代用品目及數量
煉乳 六〇瓦	米粉(又ハ澱粉) 六〇瓦
ビスケット 一〇〇瓦	乾パン(又ハ壓搾口糧) 一〇〇瓦
水飴 一〇〇瓦	麵類 一〇〇瓦

備考

米粉、澱粉及麵類ハ平時一般ノ調辨要領ニ依リ取得(要スレハ原材料官給スルコト)シ乾パン又ハ壓搾口糧ハ戰用充當過品又ハ戰用繰下品ヲ充當スルモノトス

陸軍

秘

陸密第二一〇四號

陸軍獸醫學校丙種學生ノ修學期間短縮ニ關スル件達

陸軍一般

(甲)

昭和十五年十二月入校セシ陸軍獸醫學校丙種學生(第四期)ノ修學期間ハ約四月之ヲ短縮ス

昭和十六年七月十七日

陸軍大臣 東條英機

陸軍

秘

陸密第二一〇三號

(甲)

新任將校(初任ノ准尉ヲ含ム)ニ被服及軍裝品ヲ貸與シ又ハ供用セシムルヲ得ルコトニ關スル件
陸軍一般へ通牒

昭和十六年七月十七日

陸軍省副官 川原直一

新ニ兵科又ハ各部ノ中(少)尉(准尉ヨリ任官スル者ヲ除ク)又ハ准尉ニ初任ノ者ニハ當分ノ間已ムヲ得サル者ニ限リ
下士官兵被服(襦袢袴下、靴下及手套ヲ除ク)及軍裝品(拳銃、水筒及圖囊等)ヲ貸與シ又ハ供用セシムルヲ得ルコト
ニ定メラレタルニ付依命通牒ス

陸軍

秘

陸密第二一四三號

(甲)

陸軍軍醫部令及陸軍獸醫部令ノ第二條第一項ノ規定ニ依リ各陸軍軍醫部及陸軍獸醫部ノ所管ニ屬セシムル部隊ニ關スル件達

陸軍一般

陸軍軍醫部令及陸軍獸醫部令ノ第二條第一項ノ規定ニ依リ各陸軍軍醫部及陸軍獸醫部ノ所管ニ屬セシムル部隊ニ關シ別ニ規定アルモノノ外左ノ通定ム

昭和十六年七月十九日

陸軍大臣 東條英機

關東軍軍醫部	陸軍公主嶺學校、四平街陸軍戰車學校
關東軍獸醫部	陸軍公主嶺學校

附則

本達ハ昭和十六年八月一日ヨリ之ヲ施行ス
昭和十五年陸密第一七七四號ハ之ヲ廢止ス

陸軍

秘

陸密第二一四二號

陸軍病院ノ隸屬區分ニ關スル件達

陸軍一般

陸軍平時編制ニ定ムル陸軍病院ノ隸屬區分左ノ通定ム

昭和十六年七月十九日

陸軍大臣 東條英機

軍管區	東部		中部
	飛行集團長	軍司令官	
一等	相模原	東京第一	名古屋師團長
二等	習志野、國府臺、千葉、柏、白子	東京第二、下志津、村山	中部軍司令官
三等	高田、甲府、佐倉、横須賀、沼田、郡山、村松	立川、所澤、豊岡	名古屋師團長
	宇都宮、水戸	高崎、前橋	
	仙臺第一	新發田、若松	
	金澤	富山、松本	
	豊橋、濱松	福知山、加古川第二、鯖江、奈良、徳山	
		三島、静岡、岐阜	

94

臺灣	朝鮮		第一飛行集團長	北部			西部				中部			
	臺灣軍司令官	京城師團長		朝鮮軍司令官	羅南師團長	弘前師團長	旭川師團長	北部軍司令官	久留米師團長	熊本師團長	普通寺師團長	廣島師團長	西部軍司令官	姫路師團長
臺北、臺南、屏東、臺中、基隆、澎湖島			宜德	羅南、會寧、咸興			廣島				大 阪		京都	
京城、平壤、大邱			大刀洗	弘前	旭川	上敷香	久留米	熊本	普通寺	廣島	小倉	姫路	和歌山、深山	津、敦賀
			仙臺第二、各務原、菊池、新田原、八戶、加古川第一、八日市、嘉義	秋田、山形		札幌、盛岡、青森	大村、福岡	都城、鹿兒島	德島、高知	濱田、山口	下關、鷓知、松江、福山、松山、大分	岡山、鳥取		

備 考

- 一 隸屬ノ轉移ハ加古川第一陸軍病院ハ昭和十六年八月一日トシ同時期迄ハ從前ノ師團長ニ隸屬シ白子、大刀洗、沼田、郡山、加古川第二、前橋、村松、八日市、嘉義陸軍病院ハ其ノ病院ノ所定ノ地ニ移轉完了ノ時ヲ以テ本表隸屬區分ニ入ルモノトス
- 二 加古川陸軍病院ハ其ノ稱號變更スル迄ハ中部軍司令官ニ隸屬スルモノトス
- 三 本表中ニハ軍備改變要領ニ示ス昭和十七年八月以降ニ於テ實施スル陸軍病院ノ新設及稱號變更ハ之ヲ含マス

附 則

昭和十五年陸密第一六九七號ハ之ヲ廢止ス

秘

陸密第二二九七號

(甲)

軍人軍屬ノ通信取締ニ關スル件陸軍一般へ通牒

昭和十六年七月二十九日

陸軍省副官 川 原 直 一

七月十二日附陸密第二〇四七號首題ノ件ニ依リ檢閲ヲ爲シタル郵便物ニハ檢閲者ニ於テ檢閲済ノ標記ヲ附シ且捺印スル如ク定メラル

尙營外居住者差出ノ私信ニシテ部隊名ヲ肩書セル郵便物モ亦前項ニ準ジ取扱フ儀ニ付承知相成度依命通牒ス
追テ遞信當局ニ對シ檢閲済ノ標記無キモノハ之ヲ差出人ノ所屬部隊ニ返送スル如ク要求セラレアリ
尙本件實施ニ關シテハ防諜精神教育ト相俟ツテ效果ノ發揚ヲ期セラレ度申添フ

陸 軍

軍事秘密

陸密第二二八九號

(乙)

勳員(臨時編成ヲ含ム)部隊ノ携行スル秘密扱典範令ニ關スル件陸軍一般へ通牒

昭和十六年七月二十九日

陸軍省副官 川原直一

首題ノ件ニ關シテハ當該部隊ノ性能、秘密保持等ヲ顧慮シ概ネ左記標準ニ依リ勳員管理官ニ於テ決定ノ上携行セシムルコトニ定メラレタルニ付依命通牒ス

追テ今次ノ勳員等ノ爲差當リ所要ノ分ハ勳員管理官ニ於テ所管内ノ平時保管ノ分ヲ彼此流用充當シ不足ノ分ハ至急陸軍秘密書類取扱規則第十八條ニ依リ請求セラレ度申添フ

左記

- 一、作戰要務令第四部
歩兵聯隊本部、大隊ハ各二、其ノ他之ニ準スルモノ(大隊内ノ中隊ヲ除ク)各一、宛使用シ得ル程度
- 二、歩兵以外ノ各部隊ハ前項ニ準ス
- 三、作戰要務令第四部以外ノ秘密扱ノ分亦前二項ニ準ス

陸密第二四七一號

(甲)

陸軍諸學校兵分遣規則ノ件達

陸軍一般

陸軍諸學校兵分遣規則左ノ通定ム

昭和十六年八月十二日

陸軍大臣 東條英機

陸軍諸學校兵分遣規則

第一條 陸軍士官學校、陸軍豫科士官學校、陸軍幼年學校、陸軍豫備士官學校、陸軍教導學校、陸軍兵器學校、陸軍憲兵學校、陸軍經理學校、陸軍機甲整備學校、陸軍航空士官學校、東京陸軍航空學校、陸軍航空整備學校、陸軍飛行學校ノ兵ヲ分遣スルハ本規則ニ依ル

第二條 各部隊ノ兵ノ分遣擔任區分ハ附表第一及第二ニ依ル

第三條 兵ノ分遣期間ハ概ネ一年トシ其ノ交代ハ航空部隊ニ在リテハ九月、其ノ他ノ部隊ニ在リテハ十月トス但シ勤務、教育等ノ爲必要アルトキハ派遣部隊長及學校長相互協議ノ上派遣期間ヲ延長又ハ短縮スルコトヲ得
交代兵ノ到着期日ハ學校長之ヲ定メ關係部隊長ニ通報スルモノトス

第四條 附表ノ人員中昭和十五年軍備改變要領其一、其二及昭和十六年軍備改變要領ニ依リ著手順序ヲ有スルモノニ在リテハ當該著手順序區分ニ據ル之ニ伴フ各部隊ノ分遣人員ノ増減ニ關シテハ學校長ハ派遣部隊長ト協議決定

スルモノトス

附 則

- 一、航空部隊ニ在リテハ昭和十六年九月ニ於ケル交代時ヨリ、爾餘ノ部隊ニ在リテハ同年十月ノ交代時ヨリ本規定ニ依リ實施スルモノトス但シ陸軍士官學校及陸軍兵器學校一般兵ノ分遣ニ在リテハ昭和十六年十二月以降本規定ニ依ルモノトス
- 二、昭和十五年陸密第二二一四號ハ昭和十六年十月三十日限り之ヲ廢止ス

陸軍諸學校一般兵及蹄鐵工兵分遣擔任區分表

考	備	陸軍兵器學校	久留米第二豫備士官學校	久留米第一豫備士官學校	前橋陸軍豫備士官學校	豊橋陸軍豫備士官學校	陸軍豫科士官學校	陸軍士官學校	分遣擔任區分	
									東部軍	中部軍
		(轎重兵)	(蹄鐵工兵)	(砲蹄鐵工兵)	(砲蹄鐵工兵)	(砲蹄鐵工兵)	步兵	步兵	近衛師團	東部軍
		八						五八	第二師團	東部軍
					二			五七	第十五師團	東部軍
		六				一		五七	第二十五師團	東部軍
							一八		第十六獨立步兵團	東部軍
							六		第二十六獨立步兵團	東部軍
						二			第三師團	中部軍
		六				一			第六十師團	中部軍
		六							第四十五師團	中部軍
			一						第五師團	西部軍
			一	一					第六師團	西部軍
		六							第五十五師團	西部軍
		六	一	一					第六十五師團	西部軍
		六							第七十五師團	北軍部
		五〇	三	二	二	四	二四	二二九	計	

一、本分遣人員ハ陸軍平時編制ニ依リ特ニ定員ヲ増加セラレアルモノハ當該部隊ヨリ、爾餘ハ適宜ノ部隊ヨリ分遣スルモノトス

二、陸軍士官學校、陸軍豫科士官學校及陸軍兵器學校ニ分遣スル兵中ニハ各隊毎ニ上等兵(又ハ其ノ進級見込者)約五分ノ一ヲ含マシムルモノトス

三、第五十三師團新設セハ同師團ハ第十六師團ノ分遣擔任ヲ繼承シ又分遣擔任師團動員中ノモノハ當該留守師團ニ於テ分遣ヲ擔任スルモノトス

秘

陸密第二四七二號

(甲)

衛生濾水機ノ取扱ニ關スル件陸軍一般へ通牒

昭和十六年八月十二日

陸軍省副官 川原直一

衛生濾水機ハ昭和十四年陸密第四九一號陸軍兵器機(秘)密取扱規程第二條秘密兵器ニ準シ取扱フコトニ定メラレタルニ付依命通牒ス

追テ昭和十二年八月一日附陸密第七九二號ハ自然消滅ニ付申添フ

陸軍

秘

陸密第二五二八號

(乙)

應召セル被徵用者ノ徵用解除ニ關スル件陸軍一般へ通牒

昭和十六年八月十六日

陸軍省副官 川原直一

國家總動員法第四條ノ規定ニ基ク被徵用者ニシテ召集セラレタル者ノ徵用解除ニ付テハ傷痍疾病等ニ基因シテ召集ヲ解除セラレル場合等特別ノ事由アルモノノ外一般ニ徵用期間満了ノ時期ニ於テ爾他ノ被徵用者ト同様ニ處理セラレ度依命通牒ス

追テ應召セル被徵用者ニ對スル給與ハ昭和十二年陸支普第二號囑託員、雇員、傭人又ハ工員ニシテ北支事變ニ關シ召集セラレタル者ノ給與ニ關スル件ヲ準用スル儀ト承知セラレ度申添フ

陸軍

部 98

秘

陸密第二五三三號

(甲)

任免、命課、進退ニ關スル辭令書ノ一部省略及官報、陸軍異動通報等ノ登載區分竝ニ辭令傳達要領中改正ノ件陸軍一般へ通牒

昭和十六年八月十八日

陸軍省副官 川原直一

昭和十二年七月陸密第七六〇號任免、命課、進退ニ關スル辭令書ノ一部省略及官報、陸軍異動通報等ノ登載區分竝ニ辭令傳達要領中左ノ通改正セラル

第一號第一項(ニ)號中「判任官以上」ヲ「奏任官以上」ニ改メ(ト)號ヲ削ル

第四號第一項ニ左ノ一號ヲ追加シ以下順次其ノ號ヲ繰下ク

(イ)判任官待遇付與及囑託員、雇員ノ命免

陸軍

秘

陸密第二五七一號

陸軍航空諸學校學生、生徒ノ修學期間短縮ニ關スル件達

陸軍航空諸學校學生、生徒ノ修學期間ヲ左ノ通短縮ス

昭和十六年八月二十日

陸軍大臣 東條英機

陸軍一般

(甲)

學校名	學生、生徒別	短縮期間	摘要
熊谷陸軍飛行學校	第九期生徒	概ネ一月	昭和十六年九月末修業シ修業後飛行兵トシテ引續キ上記學校ニ入校スヘキ生徒トス
大刀洗陸軍飛行學校			
宇都宮陸軍飛行學校	第四期生徒	概ネ三月	昭和十七年二月末修業豫定ノ者トス
陸軍航空整備學校			
陸軍航空通信學校	乙種學生(第二十二回關)	概ネ三月	昭和十七年二月末修業豫定ノ者トス
陸軍航空整備學校			

陸軍

秘

陸密第二六四四號

軍事上ノ秘密事項調査ニ關スル件陸軍關係部隊へ通牒

昭和十六年八月二十七日

陸軍省副官 川原直一

首題ノ件ニ關シ別紙一寫ノ通牒セラレシニ付左記ニ依リ處理相成度

追テ軍機保護法施行規則第一條第一項第三號ト號ノ召集及徵發ニ關スル事項中特ニ指定スルモノニ關シテハ別紙
二ノ通指定セラレアルニ付承知相成度

左記

- 一 軍事上秘密ヲ要スル事項ヲ表示スル圖書ニ關シ陸軍以外ノ官廳等ヨリ借用方ノ請求アリタルトキハ陸軍秘密書類取扱規則第七十條ノ規定ニ依リ措置スルコト
- 二 貸與シタル前號ノ圖書不用トナリタル際ハ返納セシメ燒却等秘密保持ニ關シ適切ナル處分ヲ爲スヘキコト
- 三 陸軍以外ノ官廳等ニ於テ調査ヲ爲シタル際ノ成果物ハ總テ關係部隊ニ提出セシメ審査ノ上之ヲ陸軍秘密書類取扱規則ヲ適用スル當該部隊調製ノ陸軍秘密書類ト爲シタル上調査ヲ爲シタル官廳等ニ對シテハ改メテ同取扱規則第七十條ノ措置ヲ爲スコト

別紙一

陸密第二六一四號

軍事上ノ秘密事項調査ニ關スル件通牒

昭和十六年八月十三日

陸軍次官 木村 兵太郎

各省次官 宛

陸軍以外ノ官廳等ニ於テ軍機保護法施行規則第一條ニ規定スル陸軍ノ軍事上秘密ヲ要スル事項ニ關シ職務上必要ナル調査ヲ爲ス行爲ハ假令刑法第三十五條ニ所謂法令又ハ正當ノ業務ニ因リ爲シタル行爲ニ該當スル場合ト雖モ之カ調査及其ノ成果物ノ取扱、保管ニ關シテハ嚴重ナルヲ要スヘキヲ以テ自今左記ニ依リ處理相成度

追テ軍機保護法施行規則第一條第一項第三號ト號ノ召集及徵發ニ關スル事項中特ニ指定スルモノニ關シテハ客年二月二十七日附陸普第一二二三三號ニ依リ通牒シ置キタルニ付爲念申添フ

左記

- 一 軍事上秘密ヲ要スル事項ノ調査ヲ爲サントスルトキハ先ヅ最寄ノ陸軍部隊ニ必要ナル事項ヲ表示スル圖書ノ請求ヲ爲シ之カ貸與ヲ受クルコト
- 二 前號ノ陸軍部隊ニ於テ所望ノモノヲ得サルトキハ關係部隊(軍、師團、聯隊區各司令部等以下之ニ同シ)ニ請求ヲ爲シ之カ貸與ヲ受クルコト
- 三 關係部隊ニ於テ所望ノモノヲ得サルトキハ其ノ部隊ト協議ノ上之カ調査ヲ爲シ其ノ成果物ハ總テ關係部隊ニ提出シ秘密保持ニ關シ必要ナル措置ヲ執ルヘキコト

秘

陸密第二六七二號

(甲)

陸軍賞與内規中改正ノ件陸軍一般へ通牒

昭和十六年八月二十九日

陸軍省副官 川原直一

陸軍賞與内規第二十七條第一號ハ昭和十六年八月十八日以後之ヲ適用セサルコトニ定メラレタルニ付依命通牒ス

陸軍

秘

陸密第二六七七號

(甲)

陸軍部外(海軍ヲ除ク)調製秘密書類ノ取扱ニ關スル件陸軍一般へ通牒

昭和十六年八月二十九日

陸軍省副官 川原直一

陸軍秘密書類取扱規則第四條ニ依ル海軍ヲ除ク陸軍以外ノ官廳ノ調製ニ係ル秘密書類ヲ陸軍部内ニ配布ヲ受ケタルノ場合ノ取扱ニ關シテハ特ニ當該調製者ノ指定アリタル場合ノ外別紙要領ニ依ルコトニ定メラレタルニ付依命通牒ス

追テ從來配布ヲ受ケタル書類ニシテ不用ノモノハ調製官廳(配布ヲ受ケタル官廳)ト連絡シ適宜整理セラレ度申添フ

陸軍

陸軍部外(海軍ヲ除ク)調製秘密書類取扱要領

標記 取扱要領

軍 資 秘 昭和十四年陸密第一二五號ニ依リ取扱フ
但シ使用、検査等ニ關シ規定ナキ事項ハ本要領中ノ「機密」ニ關シ定ムル取扱
要領ニ依ルモノトス

部 軍 資 秘 昭和十五年陸密第一九一九號ニ依リ取扱フ

指定 總 動 員 機 密

外機密
一、一連番號、調製官廳名、調製年月日、紙數、附表數等附記シアリ
二、極秘書類ニハ前號ノ一連番號等ヲ附記セサルモノモアリ

機密
一 受領部隊ニ於テ取扱者(通常成ルヘタ高等官)ヲ指定シ之カ保管、配布、整理ノ責ニ任セシムルモノトス
二 保管原簿ハ件名、發給番號、一連番號、部數、受領年月日、調製及受領官廳名等ヲ具備スル適宜ノモノヲ備付ケ保管、出納、整理ノ狀況ヲ明カナラシムルモノトス
三 格納ハ確實ニ秘密ヲ保持シ得ル適宜ノ容器ニ收納スルモノトス
四 長期ニ互ル貸與ハ之ヲ避ケ閱覽ハ當該廳舎内ニ於テ行ヒ取扱者ノ承認アル場合ノ外自宅等ニ持參セシメサルモノトス
五 教育等ノ爲内容ヲ口授スルトキハ其ノ秘密事項ナルコトヲ告知シタル後之ヲ行ヒ且可成筆記セシメサルモノトス又複製、拔萃ハ調製官廳ノ承認ヲ受クルモノトス
六 取扱者ハ所要ノ検査ヲ行ヒ要スレハ保管原簿ノ卷頭ニ所要ノ検査結果ヲ記録シ置クモノトス又調製官廳ヨリ検査等ノ爲現物ノ回收申出アリタル場合ハ之ニ應スルモノトス
七 不用ノ場合ハ順序ヲ經テ調製官廳ニ返納スルモノトス但シ豫メ其ノ調製官廳ノ承認アリタル場合ハ此ノ限ニアラス
八 送達等ノ場合ハ陸軍秘密書類取扱規則第一ニ準スル證據ヲ使用シ且二重封トシ郵送スルモノハ配達証明又ハ留置ニ依ルモノトス
九 紛失等ノ事故ヲ生シタル場合ハ速ニ捜査ノ手段ヲ講スルト共ニ順序ヲ經テ調製官廳ニ急報スルモノトス
十 外機密、機密ノ標記ヲ有スルモノ一連番號等ノ附記シアラサル書類及日常往復文書ハ陸軍秘密書類取扱規則第七十一條ニ準シ取扱ヒ受領部隊ニ於テ隨時焼却處分スルモノトス

極秘
一 一連番號ヲ有スル機密ノ標記ヲ有スル書類ニ準ス但シ閱覽ニ關スル規定ハ適用セズ且不用ノ場合ハ特ニ指定ナキ限り受領部隊ニ於テ隨時焼却處分スルモノトス
二 一連番號ヲ附記シアラサルモノハ「秘」書類ニ關スル規定ヲ準用ス

秘
一 確實ニ秘密ヲ保持シ得ル適宜ノ容器ニ收納シ複製又ハ拔萃ノ必要アル場合ニシテ特ニ指定アルモノハ調製官廳ノ承認ヲ受クルモノトス
二 紛失等ノ事故ヲ生シタル場合ハ速ニ捜査ノ手段ヲ講スルト共ニ順序ヲ經テ調製官廳ニ急報スルモノトス
三 不用ノ場合ハ受領部隊ニ於テ隨時焼却處分スルモノトス

人事極秘、又ハ人事秘密、部外秘(省外秘)、演秘
昭和十三年陸密第一六六號ニ準シ取扱ヒ不用ノ場合ハ受領部隊ニ於テ隨時燒却處分スルモノトス
考 備 一 本要領ノ標記或ハ類似ノ標記ヲ有スルモ取扱判然タラサルモノハ調製官廳ニ付調査ノ上取扱フモノトス

秘

陸密第二七二六號

陸軍演習場規則中改正ノ件達

陸軍一般

陸軍演習場規則中左ノ通改正ス

昭和十六年九月二日

陸軍大臣 東條英機

第二條但書ヲ左ノ如ク改ム

「但シ其ノ管理區分ニ關シテハ團隊學校ヲ含ム専用ノモノニ在リテハ其ノ團隊ノ所管長官、所管ヲ異ニスル部隊
以下同シ
共用ノモノニシテ土地建造物ノ經營ヲ軍經理部長ニ於テ掌理スルモノニ在リテハ當該軍司令官、其ノ他ノモノニ
在リテハ所在師管ノ師團長之ヲ管理ス」

第八條第二項中「後備役」ヲ削ル

附表第一中左ノ如ク改ム

- 1 近衛師團長ノ部相模原演習場ノ項職員ノ欄中「一」ヲ削ル
- 2 近衛師團長ノ部八柱演習場ノ項職員ノ欄ニ「一」ヲ加フ
- 3 仙臺師團長ノ部白河演習場ノ項職員ノ欄ニ「一」ヲ加フ
- 4 名古屋師團長ノ部高師原演習場ノ項職員ノ欄中「一」ヲ「二」ニ改ム

5 廣島師團長ノ部原村演習場ノ項雇員ノ欄ニ「シヲ加フ」

6 廣島師團長ノ部中太田演習場ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

川 波 島 根 縣 那 賀 郡 濱 田 松 江 步 兵 隊

第... 廣島師團長ノ部... 演習場ノ項... 雇員ノ欄ニ「シヲ加フ」... 廣島師團長ノ部中太田演習場ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

昭和十六年六月廿八日

陸軍省陸軍部中務課長ノ署名

陸軍省陸軍部中務課長ノ署名

附録第二十六次観

秘

陸密第二七五五號

(甲)

衛生濾水機祕密事項ニ關スル件陸軍一般へ通牒

昭和十六年九月四日

陸軍省副官 川原直一

八月十二日附陸密第二四七二號ニ係ル衛生濾水機ノ祕密事項ハ左記ノ通ニ付依命通牒ス

左記

- 一、濾過管ノ組成、製法、内部顯微鏡的構造及性能
- 二、洗滌裝置齒車部ノ構造

秘

陸密第二九四四號

陸軍諸給與令細則ノ規定ニ依ル被服ノ定數表ノ件中改正ノ件達

昭和十六年陸密第一一九二號中左ノ通改正ス

昭和十六年九月二十日

陸軍一般

(甲)

陸軍大臣 東條英機

陸軍

(陸軍給與令細則)

第一表 下士官被服中

憲兵兵長	憲兵隊	軍樂兵	軍樂兵
一	一	一	一
一	一	一	一
一	一	一	一
一	一	一	一
一	一	一	一
一	一	一	一
一	一	一	一
一	一	一	一
一	一	一	一
一	一	一	一
一	一	一	一
一	一	一	一
一	一	一	一
一	一	一	一
一	一	一	一
一	一	一	一
一	一	一	一
一	一	一	一
一	一	一	一
一	一	一	一
一	一	一	一
一	一	一	一
一	一	一	一
一	一	一	一

改ム

第二表 生徒被服中

千葉戰車學校生徒
東京航空學校生徒
通信學校生徒

ヲ

少年戰車兵學校生徒
東京航空學校生徒
少年通信兵學校生徒
濱松防空學校生徒

ニ改ム

第三表 特種被服

考備	區三第			區二第		區一第	分	使給品	與期	限目
	第一飛行集團司令部	第七師團司令部	旭川師管(函館、札幌及樺太ヲ除ク)	旭川師管(函館及札幌ニ限ル)	弘前師管、金澤師管(長野縣ニ限ル)	仙臺師管(若松ニ限ル)				
二一 當分ノ内舊式防寒被服(給與期限十年)ハ第二區(若松ヲ除ク)及第三區ノ部隊ニ供與スルモノトス 第七師團司令部及第一飛行集團司令部ノ勤務用被服ハ必要ノ部隊ニ供與スルモノトス	五〇	九四五					勤	年十	套外寒防	
	五〇	九三〇、六九五					務	年五	袋手大寒防	
	一〇〇	一八〇						靴寒防		
	二〇〇	七					年三	靴長寒防	戰車用	
	二〇〇	七					用	年十	帽寒防	作業用
	二〇〇	七						袴衣寒防		
	二〇〇	七					年五	袋手大寒防		
								年四	靴寒防	
							用	居兵長、營內 住下士官以下 (外宿者ヲ除ク)	年四	下袴袴襪寒防
								年一六	袋手寒防	
								年一	下靴寒防	
							用	營內居住下士官 以下(外宿者ヲ 除ク)	年四	面覆寒防
									年十三	布毛寒防
									年五	簾眼

第四表 備附被服(其ノ一)

考	備	運	學	官	軍	部		品	目	定	數	
						給	使					
						隊	與	期	分			
一 運輸部ノ毛布、敷布及枕(覆共)ハ患者用トシ毛布ハ六枚一組トス 二 師團制毒訓練所ノ被服ハ最寄軍隊ノ定數ニ加ヘ供用スルコトヲ得 三 蚊帳ノ定數ハ一人用ノモノニ依ル二人以上ノモノヲ用フルトキハ之ニ應ジ箇數ヲ減ズルモノトス						管內居住下士官以下(外宿者ヲ除ク)ノ現人員 ニ應ズル員數		二十年 十五年 九年 年	管內居住下士官以下(外宿者ヲ除ク)用	四枚一組布 包 布 蒲 團	二枚一組布 枕 (覆共)	蚊 帳
						各部隊ノ中隊(之ニ準ズルモノヲ含ム)數ニ應ズル員數		四年 九年 年 十七年	宿 番 用			
		一四〇										
		一四〇										

第四表 備附被服(其ノ三)

教育飛行隊	教育飛行團司令部	飛行隊				第一飛行集團司令部	氣球隊	區	品	給與	分限
		第百五	第百三	第百一	第百二						
								航空頭巾	第一種	六年	
								航空覆面	第一種	二年	
								航空服	第一種	一年	
								航空手袋	第一種	四月	
								航空手袋	第二種	三月	
								航空手袋	第一種	三年	
								航空手袋	第二種	一年	
								航空靴	第一種	三月	
								航空襪	第一種	六年	
								航空眼鏡	第一種	四年	
								航空面	第一種	十年	
								航空熱電	第一種	六年	
								航空熱電	第二種	六年	
								航空熱電	第一種	四年	
								航空熱電	第二種	二年	
								航空浮衣	第一種	十二年	

五

飛行學校									航空 士官 學校	飛行 實驗 部	航空 工廠	氣象 部	航空 技術 研究所	航空 總監 部	第 百 七	第 百 六
水 戸	銚 田	濱 松	明 野	下 志 津	岐 阜	大 刀 洗	宇 都 宮	熊 谷								
二六〇	二一〇	二二〇	一八〇	一七〇	三〇〇	五〇〇	二八〇	七五〇	一、四〇〇	九五	四〇	一五	一〇〇	三五	一三〇	一五〇
											五	五		五		
一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	二〇	一〇			一〇		二六	三〇
一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	二〇	一〇			一〇		二六	三〇

考	備	東	航	航
	官衙(氣象部及飛行實驗部ヲ除ク)ノ備附被服ハ最寄部隊ノ定數ニ加ヘ供用スルコトヲ得	京	空	空
		航	技	整
		空	術	備
		學	學	信
		校	校	學
				校
		二〇	四〇	二〇〇
		五	五	一〇
		五	五	一〇

第四表 備附被服(其ノ四)

考	備	病	院	區		品
				分	區	
	一 蚊帳ノ定數ハ一人用ノモノニ依ルニ人用以上ノモノヲ用フルトキハ之ニ應ジ箇數ヲ減ズルモノトス 二 患者防寒履ノ備附ハ旭川及弘前師管内ニ在ル各病院並ニ若松及松本病院ニ限ル	患者數ノ十分ノ一ニ應ズル員數 患者ノ現人員ニ應ズル員數 同上五分ノ一ニ應ズル員數 同上十分ノ一ニ應ズル員數 同上五分ノ一ニ應ズル員數	看 護 用	年十二 年五 年四 年九 年七十 月六年一	組一枚四布毛 布 包 組一枚二布敷 團 蒲 (共覆) 枕 帳 蚊 靴	寢 具 上
				年十二 年五 年四 年九 年七十 月六年二 年四 年二 年四 月六年一 年十 年四 年十	組一枚六布毛 布 包 組一枚二布敷 團 蒲 者 (共覆) 枕 者 帳 蚊 者 衣 夏 者 組一枚二衣冬者 袴 襦 夏 者 袴 襦 冬 者 帶 者 靴 套 外 者 卷 襟 者 袋 足 者 覆 寒 防 者 ト ン マ 者 團 蒲 綿 眞 者 團 布 敷 者 (共覆)團 蒲 枕 者 衣 病 狂	患 者 用

第九表 轉出者並殘喰用被服中「營外居住」ヲ「營外居住又ハ外宿」ニ改ム

第八表 下士官兵被服中
(臺灣駐劄陸軍部隊給與規則細則)

憲兵隊長	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一											
憲兵隊	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

第九表 特種被服

區分	品目	給與期限	
		年	月
軍隊附營内居住下士官兵 憲兵隊及病院附營内居住下士官兵(外宿者ヲ除ク)	防暑帽	三	一
	防暑衣袴	一	一
	防蚊手袋	四	一
	防蚊覆面	三	一
營外居住又ハ外宿ノ下士官			

第十表 備附被服(其ノ一)

考 備	病 院	官 衙 (病院ヲ除ク)	軍 隊	分 區		使 用 限 期		給 與 目 的		品 目	定 數
				分 區	使 用 限 期	給 與 目 的	品 目				
一 蚊帳ノ定數ハ一人用ノモノニ依ルニ二人用以上ノモノヲ用フルトキハ之ニ應ジ箇數ヲ減ズルモノトス 二 上靴ノ備附ハ病院ニ限ル	人員ニ應ズル員數 患者ノ現人員ニ應ズル員數 同上五五分 同上五分 同上五分 同上五分	各部隊ノ中隊ノ之ニ準ズル員數 各部隊ノ中隊ノ之ニ準ズル員數 各部隊ノ中隊ノ之ニ準ズル員數 各部隊ノ中隊ノ之ニ準ズル員數 各部隊ノ中隊ノ之ニ準ズル員數 各部隊ノ中隊ノ之ニ準ズル員數 各部隊ノ中隊ノ之ニ準ズル員數 各部隊ノ中隊ノ之ニ準ズル員數 各部隊ノ中隊ノ之ニ準ズル員數 各部隊ノ中隊ノ之ニ準ズル員數 各部隊ノ中隊ノ之ニ準ズル員數	管内居住下 士官以下 士官以下 士官以下 士官以下 士官以下 士官以下 士官以下 士官以下 士官以下 士官以下 士官以下	管内居住下 士官以下 士官以下 士官以下 士官以下 士官以下 士官以下 士官以下 士官以下 士官以下 士官以下	看 宿 護 番 用 用 患 者 患 者 患 者 患 者 患 者 患 者 患 者 患 者 患 者 患 者	年十三 年七十 月六年二 年二十 年六 年四 月六年一	組一枚四布毛 布 包 組一枚二布敷 團 蒲 (共覆) 枕 帳 蚊 靴 上	寢 具 上			
						年十三 年七十 月六年二 年二十 年九 年五 年一 年五 年一 年三 年四 月六年一	組一枚四布毛 布 包 組一枚二布敷 團 蒲 者 患 (共覆) 枕 者 患 帳 蚊 者 患 衣 夏 者 患 衣 冬 者 患 裪 襦 夏 者 患 裪 襦 冬 者 患 帶 者 患 靴 上	患 者 患 者 患 者 患 者 患 者 患 者 患 者 患 者 患 者 患 者 患 者 患 者			
						年十 年十二 年十 年十	ト ン マ 者 患 團 蒲 綿 眞 者 患 團 蒲 敷 者 患 (共覆) 團蒲枕者患	患 者 患 者 患 者 患 者			
						年十	衣 病 狂	患 者			

第五表 備附被服(其ノ一)

考 備	病 院	官 衙 (病院ヲ除ク)	軍 隊	區 分		品 目	給 與 期 限	使 用 區 分	定 數		
				官 署 以下 用	管 內 居住 下宿 者 除ク 用				看 護 用	休 養 室 用	患 者 用
<p>一 師團制毒訓練所ノ寢具ハ最寄部隊ノ定數ニ加ヘ供用スルコトヲ得</p> <p>二 上靴ノ備附ハ病院ニ限ル</p> <p>三 蚊帳ノ定數ハ一人用ノモノニ依ル二人用以上ノモノヲ用フルトキハ之ニ應ジ簡數ヲ減ズルモノトス</p>				<p>各部隊ノ中 除クモノ準 ズルモノ 含ム 應ズル員數ニ 分ルノ員數 應ズル員數</p>	<p>現人員ニ應ズ 者ヲ除ク 官以下 管內居住 下宿者 除ク</p>	<p>看 護 用</p>	<p>休 養 室 用</p>	<p>患 者 用</p>	<p>者 用</p>	<p>年十二 組一枚六布毛</p>	<p>年十二 組一枚六布毛</p>
										<p>年五 十 布 包</p>	<p>年五 十 布 包</p>
										<p>年四 組一枚二布敷</p>	<p>年四 組一枚二布敷</p>
										<p>年九 團 蒲</p>	<p>年九 團 蒲</p>
										<p>年九 (共覆) 枕</p>	<p>年九 (共覆) 枕</p>
										<p>年七 十 帳 蚊</p>	<p>年七 十 帳 蚊</p>
										<p>月六年一 靴</p>	<p>月六年一 靴</p>
										<p>年九 團 蒲</p>	<p>年九 團 蒲</p>
										<p>年七 十 帳 蚊</p>	<p>年七 十 帳 蚊</p>
										<p>年十二 組一枚六布毛</p>	<p>年十二 組一枚六布毛</p>
										<p>年五 十 布 包</p>	<p>年五 十 布 包</p>
										<p>年四 組一枚二布敷</p>	<p>年四 組一枚二布敷</p>
<p>年九 團 蒲者患</p>	<p>年九 團 蒲者患</p>										
<p>年七 十 (共覆) 枕者患</p>	<p>年七 十 (共覆) 枕者患</p>										
<p>月六年二 衣夏者患</p>	<p>月六年二 衣夏者患</p>										
<p>年四 組一枚二衣冬者患</p>	<p>年四 組一枚二衣冬者患</p>										
<p>年二 裨襪夏者患</p>	<p>年二 裨襪夏者患</p>										
<p>年二 裨襪冬者患</p>	<p>年二 裨襪冬者患</p>										
<p>年四 帶者患</p>	<p>年四 帶者患</p>										
<p>月六年一 靴</p>	<p>月六年一 靴</p>										
<p>年十 套外者患</p>	<p>年十 套外者患</p>										
<p>年四 袋足者患</p>	<p>年四 袋足者患</p>										
<p>卷襪者患</p>	<p>卷襪者患</p>										
<p>覆塞防者患</p>	<p>覆塞防者患</p>										
<p>トソマ者患</p>	<p>トソマ者患</p>										
<p>團蒲綿真者患</p>	<p>團蒲綿真者患</p>										
<p>團蒲數者患</p>	<p>團蒲數者患</p>										
<p>年十 (共覆)團蒲枕者患</p>	<p>年十 (共覆)團蒲枕者患</p>										
<p>衣 病 狂</p>	<p>衣 病 狂</p>										

(在滿陸軍部隊臨時給與令細則)

第五表 下士官兵被服

考 補	戰車隊、裝甲車隊、砲戰車隊、自 動車隊及之ニ準スル部隊ノモノ	乘馬者 乘馬ヲナスモノ	者				歩兵隊、師團通信隊ノモノ	戰砲兵隊、野戰重砲兵隊 (機馬編制)ノモノ	山砲兵隊、獨立山砲兵隊 ノモノ	高射砲隊(乘馬スルモノ ヲ除ク)、迫撃隊ノモノ	航空隊ノモノ	其ノ他ノモノ	區 分		目	定 數
			略	冬	夏	外							雨	マ		
五	野砲兵隊												帽	略		
四	諸生徒及召集者ノ所持定數ハ關東軍司令部官ノ定ムル所ニ依ル												袴衣	冬		
三	關東軍司令部官ハ演習、教育、諸勤務等ノ爲本定數ノ増減ヲ必要ト認ムルトキ及特殊部隊ニ對シ本表以外ノ品種ヲ所持セシムルノ必要アルトキハ陸軍大臣ノ認可ヲ受ケルモノトス												袴衣	夏		
二	士官候補生及見習士官ノ被服ハ當該部隊ノ下士官兵ニ準ジ且服制上所要ノ被服ヲ增加ス												套	外		
一	士官候補生及見習士官ノ被服ハ當該部隊ノ下士官兵ニ準ジ且服制上所要ノ被服ヲ增加ス												套	外		
													ト	ン		
													布	襟		
													下袴	襪	冬	
													下袴	襪	夏	
													袋	手		
													下	靴		
													靴	上		
													靴	長		
													靴	内		
													絆	脚		
													車	拍		
													種一第	衣		
													種二第	作		
													膠	手		
													囊	背		
													袋	負		
													囊	雜		
													盒	飯		
													筒	水		
													幕	天		
													具	入		
													票	識		

附 則

本達ハ昭和十六年八月一日以後ノ給與ニ付之ヲ適用ス但シ陸軍給與令細則第二表生徒被服、第三表特種被服及第四表備附被服、臺灣駐劄陸軍部隊給與規則細則第十表備附被服(其ノ一)竝ニ朝鮮滿洲駐劄陸軍部隊給與令細則第五表備附被服(其ノ一)ノ改正規定中部隊ノ新設又ハ編制改正ニ係ル部分ハ當該部隊ノ新設又ハ編制改正著手ノ日以後ノ給與ニ付之ヲ適用ス

秘

陸密第二九七六號

(甲)

陸軍部隊ノ演習實施ニ關スル規定ノ件達

陸軍一般

陸軍部隊ノ演習實施ニ關スル規定左ノ通定ム

昭和十六年九月二十四日

陸軍大臣 東條英機

陸軍部隊ノ演習實施ニ關スル規定

第一條 本規定ハ昭和十五年軍令陸乙第十一號ニ基ク部隊ノ演習實施ニ關シ所要ノ事項ヲ規定スルモノトス

第二條 當分ノ内本演習實施部隊ヲ附表第一、第二ノ如ク定ム

第三條 演習部隊ノ所管長官ハ演習實施一月前迄ニ實施計畫ヲ具シ順序ヲ經テ陸軍大臣ニ申請シ且參謀總長及教育

總監(航空部隊ニ在リテハ陸軍航空總監)ニ報告シ又實施十日前迄ニ其ノ他ノ關係所管長官ニ所要ノ事項ニ關シ通

牒スルモノトス

特別ノ事由ニ依リ演習實施一月前迄ニ前項ノ手續ヲ採ル能ハサルトキハ速ニ電報ニ依リ所要ノ事項ヲ前諸官ニ申

請又ハ報告若ハ通牒スルコトヲ得

第四條 航空部隊ニ在リテハ演習部隊所要ノ燃料、彈藥等ノ補給、整備援助及給養ハ最寄部隊ニ依頼スルモノトス

前項所要ノ經費ハ演習終了後演習部隊ヨリ戻入スルモノトス

107

第五條 航空部隊ノ演習ニ方リ所要ノ通信連絡、不時著應援、警戒等ハ最寄部隊長之ヲ實施スルモノトス

第六條 演習實施ニ要スル經費ハ實施部隊演習費令達豫算ヲ以テ支辨スルモノトス

第七條 本規定ニ依ル演習參加者ニハ陸軍旅費規則ニ依ル支度料ヲ給セサルモノトス

附 則

昭和十五年陸密第八五八號及同陸密第一二九三號ハ之ヲ廢止ス

附表第一

演習實施軍隊	
區	分
第十九師團	兵
概ネ歩兵一聯隊ヲ基幹トスル以下ノ兵力	
	力

附表第二

演習實施部隊一覽表

區分		部	隊
陸軍航空總監隷下部隊	第一飛行集團	下志津陸軍飛行學校	
		明野陸軍飛行學校	
		鉾田陸軍飛行學校	
		濱松陸軍飛行學校	
		陸軍航空通信學校	
		白城子陸軍飛行學校	
		白城子陸軍飛行學校教導飛行團司令部	
		教導飛行第二百六戰隊(軍偵、直協中隊ヲ除ク)	
		第一飛行集團司令部	
		飛行團司令部	教育又ハ防空ノ專任任務ヲ附與セラレアルモノヲ除ク
航空兵團	第二、第七乃至第十飛行團司令部		
	飛行戰隊(司偵)		
	飛行戰隊(重爆)		

備考

- 一 本表ノ外朝鮮(滿洲)ニ在ル航空部隊ハ滿洲(朝鮮)ニ於テ演習ヲ實施スルコトヲ得
- 二 本表中飛行戰隊(司偵)(重爆)トアルハ昭和十六年軍令陸甲第十八號陸軍航空部隊編制附表第六號其一及共四ニ示スモノナリ

別紙第二

陸普第一一四一號

軍機保護法施行規則ニ關スル件陸軍一般へ通牒

昭和十五年二月二十三日

陸軍省副官 川 原 直 一

軍機保護法施行規則第一條第一項第三號ト號ニ規定スル事項(召集及徵發ニ關スル事項中特ニ指定スルモノニ限ル)ハ左記ノモノヲ指定セラレタルニ付承知相成度依命通牒ス

左 記

市、區又ハ市區以外ノ警察署ノ管轄區域(北海道及樺太ニ於ケル支廳竝ニ朝鮮、臺灣、關東州及滿洲國ニ在リテハ陸軍召集規則ニ定ムル之ニ準ズル區域)以上ノ區域ニ於ケル召集人員數竝ニ徵發シタル馬匹及自動車ノ數

(2)

秘

陸密第二五七一號

陸軍航空諸學校學生、生徒ノ修學期間短縮ニ關スル件達

陸軍一般

(甲)

陸軍航空諸學校學生、生徒ノ修學期間ヲ左ノ通短縮ス

昭和十六年八月二十日

陸軍大臣 東條英機

學校名	學生、生徒別	短縮期間	摘要
熊谷陸軍飛行學校	第九期生徒	概ネ一月	昭和十六年九月末修業シ修業後飛行兵トシテ引續キ上記學校ニ入校スヘキ生徒トス
大刀洗陸軍飛行學校			
宇都宮陸軍飛行學校	第四期生徒	概ネ三月	昭和十七年二月末修業豫定ノ者トス
陸軍航空整備學校			
陸軍航空通信學校	乙種學生(第二十二回)		
陸軍航空整備學校			

陸軍

秘

陸密第二九七二號

(甲)

盜難防遏ノ爲内務緊肅ニ關スル件陸軍一般へ通牒

昭和十六年九月二十四日

陸軍次官 木村兵太郎

最近軍需品ノ盜難益々増加ノ傾向ニアリ其ノ狀況ヲ見ルニ悉ク内務ノ缺陷ニ基カサルモノナキハ寔ニ遺憾ニ堪ヘサル所ナリ各部隊ハ一層内務ヲ緊肅シ特ニ雇傭人、工員、軍用達商人、軍工事請負人並ニ人夫、臨時傭人等ニ對スル身許調査ヲ嚴重ナラシムルト共ニ監督指導ヲ一段ト強化シ以テ此ノ種犯罪ノ防遏ニ關シ萬全ヲ期セラレ度依命通牒ス

追テ別冊參考資料トシテ送付ス

陸軍

169

別冊

軍需品盜難狀況

昭和十六年九月
陸軍省印刷

目次

一 一般狀況	一頁
二 犯罪ノ態様並被害品ノ狀況	二
三 監督指導上注意ヲ要スヘキ事例	三
四 結言	三
附表第一 軍用品ヲ目的トスル犯罪月別人員表	
同 第二 軍人軍屬階級別調査表	
同 第三 常人ノ職業別一覽表	
同 第四 被害品目等調査表	
別紙 軍用品ヲ目的トスル犯罪事例	

軍需品盜難狀況

一 一般狀況

現下地方一般ニ於ケル諸物資ノ缺乏ニ基因シ軍用品タル綿毛被服品、皮革、油類、金屬製品ヲ目的トスル盜犯等ハ最近益々増加ノ傾向ヲ示シ本年一月以降七月末迄ノ間ニ於テ憲兵ノ取扱ヒタルモノ百十件百七十二名(軍人軍屬五十一件六十七名、常人五十九件百五名)被害總額ハ十七萬四千五百二十九圓餘(軍人軍屬七千四百九十八圓餘、常人十六萬七千三十一圓餘)ニ達シ半ケ年餘ニシテ既ニ前年度(百二十八件百九十五名十七萬一千四百七十餘圓)ノ一ケ年分ニ匹敵スヘキ數ニ上リ特ニ本期間常人ニヨル被害ハ前記ノ如ク甚大ナルモノアルニ鑑ミ將來軍用達商人、軍工事請負人並人夫、臨時傭人等ニ對スル監督ハ一段ト強化スルノ要アリ

(附表第一、第三參照)

二 犯罪ノ態樣並被害品ノ狀況

軍人軍屬ノ犯罪ハ日用品タル被服品又ハ油類等ノ盜取ニ係ルモノ多ク外出時又ハ休暇歸省時郷里ヘノ土産品ニ供シタルモノナルカ中ニハ將校ニシテ倉庫業務ヲ指揮統轄中部下ト共謀シ馬糧千數百疋ヲ橫領費消シタルモノ或ハ下士官、兵並軍屬等ニシテ被服、物品、陣營具係同助手等ニ服務中其ノ業務上保管又ハ取扱ヒニ係ル物品ヲ竊取橫領シタルモノ十數件ノ多キニ達シアルハ注意ヲ要ス

殊ニ軍屬ハ近時相當廣範圍ニ互リ責任アル勤務ニ從事シ且事變業務繁劇ノ爲上司ノ監督不行屆ニ乘シ本犯ヲ犯シタルモノ三七名ヲ算シ甚タシキハ數十回ニ互リ數十點ノ物品ヲ竊取シタルモノアリ

又常人ニアリテハ工員ノ盜犯最モ多キカ(三十七名)被害額ヨリ見レハ軍工事請負業者又ハ用達商人ノ軍供給資材、綿糸等ノ過剩品ヲ横領シ或ハ不正品ヲ混入スル等ノ上之ヲ詐取シタルモノ壓倒的多額ヲ占メ一件四萬數千圓ニ達スルモノアリ

(附表第二、第三及別紙参照)

三 監督指導上注意ヲ要スヘキ事例

- 斯種犯罪ノ未然防止上特ニ部隊側ニ於テモ一端ノ責任アリト認メラルモノヲ舉クレハ左ノ如シ
- 軍屬ヲ採用スルニ當リ身元調査ヲ實施セス又ハ不徹底ナル爲竊盜其ノ他數犯ノ前科ヲ有スルモノヲ採用シ軍用品ヲ窃取セラレタルモノ數事例アリ
 - 相當長期ニ互リ繼續的ニ軍用品ヲ窃取セラレアルニ不拘部隊側ニ於テハ監督不行届ノ爲或ハ關係簿表ノ整理不確實ノ爲之ニ氣付カサルモノアリ
 - 廠ニアリテハ顯微鏡、寫眞機等ノ兵器ヲ退廠後棚上ニ放置シアリタル爲軍屬一ニ窃取セラル
 - 陸軍病院ニ於テハ被服本廠ヨリ發送セル被服品十八捆ヲ運送者ヨリ受領ニ際シ衛生兵ヲシテ受領セシメ且箇數ノミヲ點檢シ内容ニ付何等點檢スルコトナク受領セル爲内容品タル軍用毛布數枚運送業者ニ窃取セラレタルヲ發見セス
 - 物品持出證發行ニ當リ現品ヲ點檢セス交付セルモノアリ
 - 召集解除時ニ於ケル携行品検査ヲ實施セサル爲返納被服品等横領又ハ窃取セラレタルモノ十數件アリ
 - 被服、食糧物品倉庫等ノ施錠不確實ノ爲窃取セラレタルモノ數件アリ

●軍工事人夫等カ工事場ニ自由ニ出入シ得ルヲ奇貨トシ貨物自動車又ハ「リヤカー」等ニ窃取セル軍用資材等ヲ積載
哨兵ヲ欺キ白晝公然搬出セルモノアリ

●軍需下請業者又ハ用達商人等カ官給資材ノ殘材處分ニ關シ的確ナル指示監督ナキヲ奇貨トシ之ヲ横領民需ニ流用
シ又ハ法外價格ニテ賣却セルモノアリ

●貨物自動車運轉手二名ハ拂下品ノ運搬ニ當リ部隊側ヨリ立會人ナキヲ奇貨トシ馬糞倉庫ヨリ燕麥等窃取シ拂下品
ニ混入搬出セリ

●軍屬一ハ常人數名ト共謀シ監視ノ寛容ナル軍用資材置場ヨリ鐵管二百數十本ヲ窃取シ貨物自動車ニ積載堂々搬出
ス

●被服庫常用人夫一ハ二年數ヶ月間數十回ニ互リ被服品百數十點ヲ窃取シ歸宅時着用又ハ隠匿シ哨兵ヲ欺キ搬出ス
(主ナル事例別紙ノ如シ)

四 結 言

1 以上ノ狀況ハ憲兵ニ於テ事件送致其ノ他處分ニ附シタルモノノミヲ計上シタルモノニシテ更ニ事犯輕微ナルモノヲ擧クルニ於テハ其ノ數蓋シ甚大ナルモノアルヘシ
而シテ斯種犯罪ノ累ハ單ニ軍經理上ノ被害ノミナラス軍需物資ノ地方流用ハ一般ニ對シ軍ノ物資潤澤或ハ軍ノ物資尊重觀念等ニ關シ疑惑ヲ抱カシメ軍部誹謗ノ一因トナルノ虞レ大ナルモノアルニ鑑ミ部隊内ニ於ケル被服ノ保管、關係簿表ノ整理、風紀、衛兵勤務者ニ對スル教育指導乃至ハ軍工事關係者並出入商人等ニ對スル監視監督ヲ更ニ嚴ニスルノ要アリト認ム

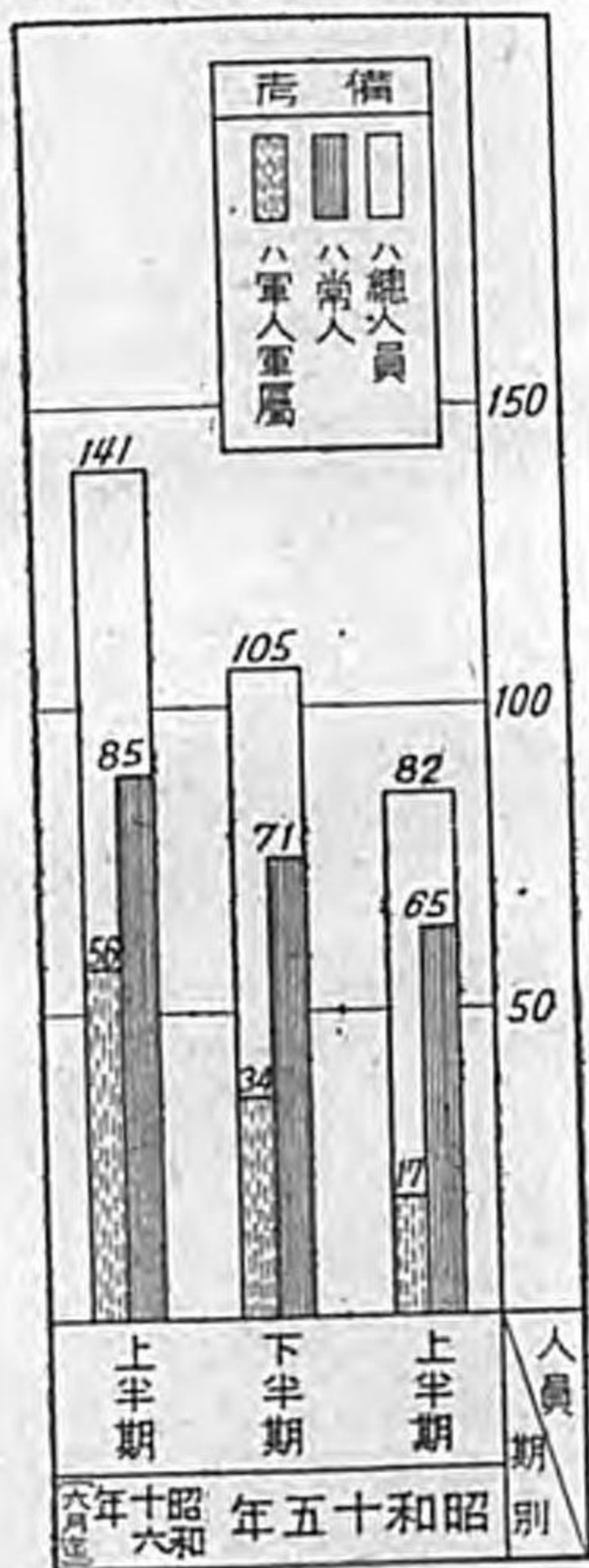
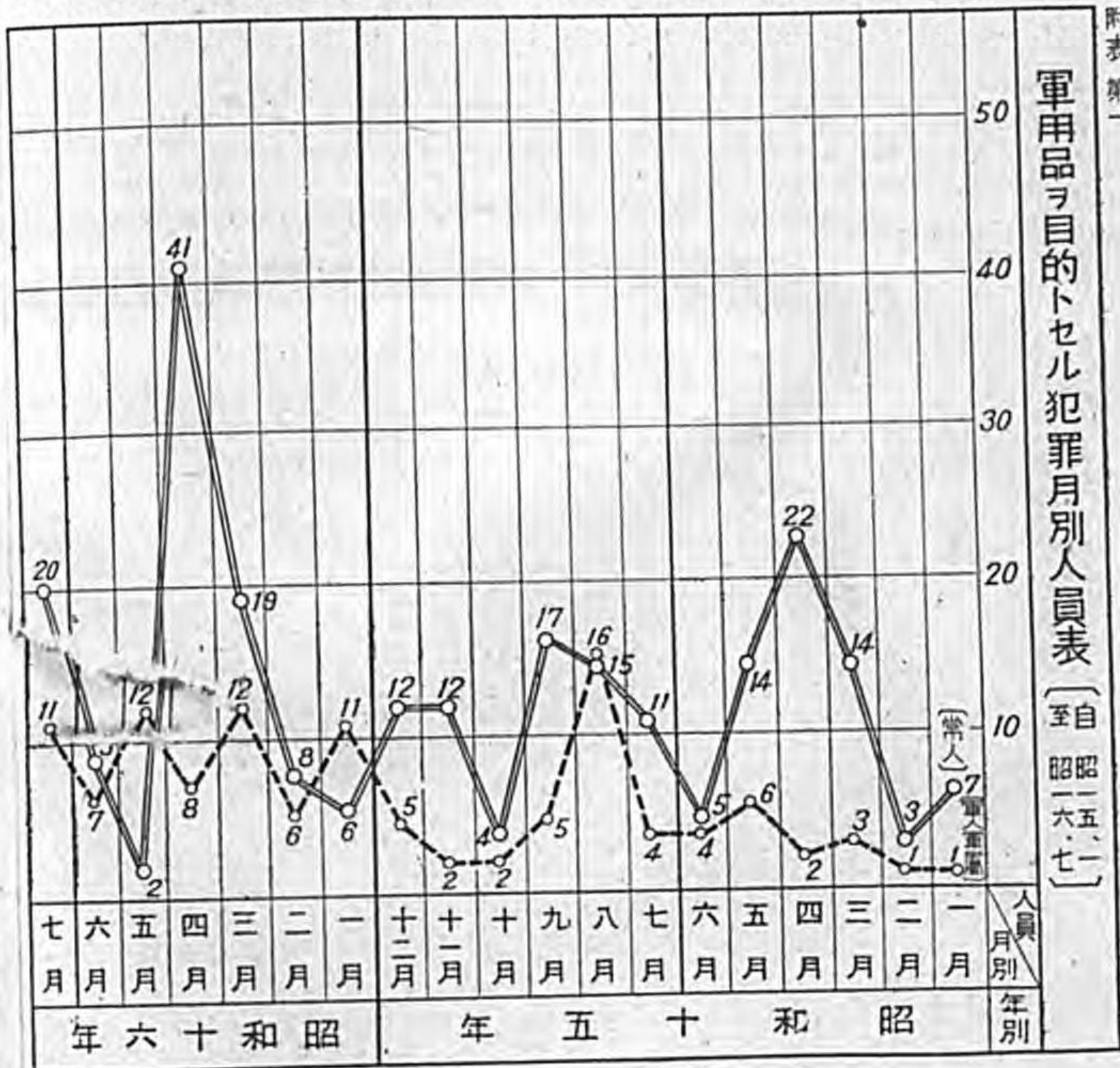
2

尙最近軍人軍屬及其ノ家族其ノ他軍關係常人等ニシテ軍需物資ヲ家庭生活ニ流用シ或ハ歸還時統制物資ヲ多量
ニ携行スルモノ或ハ生活必需物資ノ買溜等軍關係者自ラ統制經濟ヲ紊ルカ如キ風潮漸次濃化シツツアリテ巷間非
難セラルルノ向ナシトセサルヲ以テ之等ニ對シテモ嚴ニ戒飭セシムルノ要アリ

四

附表第一

軍用品ヲ目的トセル犯罪月別人員表 (自昭二六五七)



軍人軍屬階級別調査表 (自昭一六六、七)

備考	計	軍	二	一	上	兵	伍	軍	曹	准	少	中	少	階級別	現	役	召	集	計
		屬	等兵	等兵	等兵	長	長	曹	長	尉	尉	尉	佐	別					
アラビヤ數字ハ應召中犯罪ヲ犯シ召集解除後發覺シタルモノナリ	六〇	三六	一	五	二	二		五	五	三		一		現	役				
	13七		2	6	2	2	1	二			一		一	集					
	六 13七	三六	2	6	2	2	1	七	五	三	一	一	一	計					

附表第三

常人ノ職業別一覽表 (自昭二六、七)

職業別	人員
工員	三七名
在郷軍人(應召中)	一三名
工事請負並人夫	一二名
出入商人	一〇名
臨時傭人	一名
其他	二三名
計	一〇五名

二 常 人

服 被											品	
襦	半	半	作	敷	軍	軍	外	軍	麻	綿	官	目
袴	牛	半	業	布	靴	袴	套 (含防寒)	用	布	布	給	員
下 (含防寒)	皮	革	衣	布	靴	袴	套 (含防寒)	毛	及	類	毛	數
								布	袋	類	糸	見
												積
												金
												額
六	五枚	五二	九	九、八〇七	一四	五	五	一九	三一六枚	八五五枚	六、六八一斤	
一四〇〇	三〇〇〇	一〇〇〇〇	三〇〇〇	四四、二二五〇〇	一一六〇〇	四五〇〇	八四〇〇	二八五〇〇	一一二一八〇	一、五九四〇〇	四八、七九一〇〇	

計	其 器 兵 類																
	其	紙	木	燕	乾	レ	蓄	自	精	タ	工	擴	三	時	軍	寫	ド
ノ	類	材	麥	草	コ	音	轉	米	器	具	大	式	計	刀	機	罐	製
消	類	材	麥	草	コ	音	轉	米	器	具	大	式	計	刀	機	罐	製
耗	類	材	麥	草	コ	音	轉	米	器	具	大	式	計	刀	機	罐	製
品	類	材	麥	草	コ	音	轉	米	器	具	大	式	計	刀	機	罐	製
七、四九八三〇	八〇〇枚		二二石七斗餘	一、三七〇二疋	一七	一	二			一〇〇	一		七		三	一一	一〇〇〇
九六〇		六七五〇	三七四〇〇	二四六六四	二五〇〇	五〇〇〇	一〇〇〇〇	一五〇〇〇	一六五〇〇	七七三〇〇		五八〇〇〇	七五〇〇	一八〇〇〇	五一〇〇〇	二一〇〇〇	一〇〇〇〇

備考一 見積金額中被告人ノ處分價格ヲ記載セルモノ又ハ數量判明セス金額ノミヲ記載セルモノアリ

計	其ノ他										兵器				金類										油類	品						
	モ	白	馬	セ	ラ	自	蓄	マ	木	氣	顯	帶	飛	鐵	鋼	ワ	遠	黃	ボ	釘	ト	電	ガ	其ノ	靴	軍	手	卷	夏	防		
	一	米	糧 (燕麥、糖等)	メ ン ト	ジ オ	轉 車 共 ノ 他	音 機 竝 レ コ ー ド	ニ ラ ロ ー ブ	材	化 器	微 鏡、 同 レ ン ズ、 映 寫 機、 寫 真 機	革	行 時 計	管	材	イ ヤ ロ ー ブ	心 子	銅 棒	ト	一 貫	板	線 針 金	ソ リ ン	他 被 服 品 (品 目 不 明 ノ モノ)	下	(略)	套	絆	袴	外 套		
一				一五〇袋	一	五臺外數點	二	二七貫	二〇五石			二	二二三本		七本	二二萬個	一、七〇〇疋		三一貫	二七		五〇〇罐	數百點	五九	三	二七	四	二	二			
一六七、〇三二〇四	一八〇〇〇	一〇〇〇	一三〇〇	六、一一五〇〇		二五六〇〇	一〇〇〇〇	三〇〇〇〇	六、三六六〇〇	一三〇〇〇	一、五四〇〇〇	一八〇〇〇	二〇〇〇〇	六、〇〇〇〇〇	二、五四〇〇〇	二〇〇〇〇	一、五二五〇〇	一三、〇〇〇〇〇	一七六〇〇	一五〇〇〇	四七〇〇	四九〇〇〇	一四、三三八〇〇	九九一〇〇	五九〇	二五〇	二七〇	一二〇〇〇	七五〇	二〇〇〇		

軍用品ヲ目的トスル犯罪事例

一 軍人軍屬

所屬官等	氏名	犯行月日	犯罪ノ概要	摘要
船舶輸送司令部大阪支部 軍屬(工員)	遠藤秀夫	自昭一四、一〇 至昭一五、六	陸軍運輸部大阪倉庫ニ於テ貸與品係トシテ勤務中慾心ヨリ同倉庫内ニ於テ貨品係トシテ勤務中(代價約八百圓)毛布作業服(代價八十五圓)ヲ一枚所持ス尙本件捜査ニ依リ同支部工員四名カ何レモ純粋犯罪者ナラシメテテ設論ノ上始末書ヲ判明シ之カ處置方所屬長ニ一任セリ	大阪師ニ捜査報告 金役三三〇圓
北部第三部隊 現上兵	長谷川政彦	昭和一五、一一、二六	所屬中隊附具係手トシテ勤務中被服倉庫ニ於テ資配給不圓滑ニヨリ實家ノ窮乏ヲ援助スヘク施錠ヲナク且附近ニ人ナキヲ伺ヒ被服品五十枚ヲ取リ去リシ歸郷兵ニ託シ實家ニ送付セントシタルモノナリ	旭川師ニ捜査報告 懲役四月
廣島陸軍兵器補給廠 兵技准尉	高松惣吉	自昭一四、九 至昭一六、一	同廠包ケ浦分廠長トシテ服務中其ノ地位ヲ利用シ賈人等ヨリ金品ヲ收受シ贈賄者ニ前後四回ニ互リ自己保管ニ係ル軍用鉛、鐵線等百二十二貫六百九拾千三百把ヲ横領無價交付シタル外工賃ニ關シ三三〇圓ヲ不法領得ス	廣島師ニ捜査報告 懲役二九五月
陸軍經理學校 軍屬(廚夫)	寺崎我春雄	自昭一五、一〇 至昭一六、二	遊興費ニ窮シタル結果兩名共謀シ所屬校糶糴會庫内ヨリ數回ニ互リ食糧品(精米、麥粉、秣、砂糖等)ヲ數十圓及毛布四枚ヲ窃取シ資却又ハ入質費消ス	一師ニ事件送致 懲役六月
陸軍飛行實驗部 軍屬(工員)	小山文治郎	自昭一六、三九	遊興費ニ窮シタル結果所屬兵器庫戸棚ヨリ第一類兵器ヲ取入質遊興ニ費消ス	一師ニ事件送致 懲役六月
相模陸軍造兵廠 軍屬(工員)	山口助右エ門	自昭一三、六 至昭一六、二	妻アルヲ祕シ女工一同棲通勤シアリシカニ重世帯ノ爲金錢ニ窮シ前後十一回ニ互リ自己カ業務上保管中ノ「ドリル」シヤク「六角」外七十八點ノ工具(時價約六八二圓餘)ヲ横領賣却ス	一師ニ事件送致 懲役六月
陸軍運輸部 軍屬(運輸工)	正田勇作	自昭一五、二 至昭一六、三	カ同部衛生課ニ勤務中診察所其ノ他構内ニ於テ軍用毛布敷布等十四點(時價九十五圓餘)ヲ窃取シ自宅ニ於テ使用又ハ隠匿シアリタルモノナリ	宇都宮師ニ捜査報告 懲役十月
東部第四十四部隊 補一兵	小林清吉	自一、二 至四、二〇	除隊後自己ノ用ニ供センカ爲所屬隊乾場、洗濯場、倉庫、炊事場、内務班等ニ於テ約二十四回ニ互リ軍用被服等合計五十餘點ヲ手交自宅ニ搬出セシム	宇都宮師ニ捜査報告 懲役十月
元陸軍倉庫平壤支庫 主計中尉	橋田俊雄	自昭一五、一〇 至昭一六、三	橋田中尉ハ上記支庫長トシテ同倉庫業務ヲ指揮統轄中自己ノ地位ヲ利用シテ同倉庫業務ヲ指揮出入商人ヨリ前部數回ニ互リ七百餘圓ノ現金及共謀シテ民間納入乾草一萬三千七百四十六圓餘ヲ段ヲ以テ民間納入乾草一萬三千七百四十六圓餘ヲ横領費消ス	朝鮮軍ニ捜査報告
臨時東京第一陸軍病院 軍屬(運轉手)	島村芳男	自昭一四、一 至昭一六、七	上記期間數回ニ互リ患者護送用毛布十二枚其他ノ被服數回ニ互リ患者護送用毛布十二枚其車内ニ隠匿搬出シ其ノ家庭ニ於テ使用ス	東部軍ニ事件送致

110

秘

陸密第三〇六一號

(甲)

陸軍科學學校員外學生ノ修學期間ニ關スル件達

陸軍一般

昭和十六年度採用陸軍科學學校甲種員外學生ノ修學期間ハ概ネ三年八月、丙種員外學生ノ修學期間ハ概ネ三年六月
トシ甲種員外學生ニ在リテハ概ネ八月、丙種員外學生ニ在リテハ概ネ六月陸軍科學學校ニ於テ夫々大學又ハ專門學
校入學ニ必要ナル準備ヲ爲サシム

昭和十六年十月一日

陸軍大臣 東條英機

陸軍

軍事秘密

陸密第三二二二號

(甲)

航空機關係秘密兵器掲載取締ニ關スル件陸軍一般へ通牒

昭和十六年十月七日

陸軍省副官 川原直一

首題ノ件別紙ノ通り定メラレタルニ付依命通牒ス

(別紙)

昭和十四年陸密第四八一號陸軍兵器機(秘)密取扱規程第二十四條又ハ第三十三條ニ基キ航空機關係秘密兵器ノ寫眞、寫生圖等ヲ陸軍部外ニ配布スヘキ圖書又ハ公刊物ニ掲載シ或ハ一般公開ノ場所ニ陳列スル場合ノ取締ハ爾今左記要領ニ依ル

左記

- 一 新機種「九八式(含)以前ノモノヲ除ク」ノ發表及機種毎ノ取締細部要領ハ別ニ通達スルモノニ依ル
 - 一 新機種ノ寫眞ハ陸軍當局ノ貸下ケタルモノノミニ依ル
 - 一 新機種ノ寫生圖等ハ其ノ都度當局ノ許可ヲ受クルモノトス
- 但シ九八式(含ム)以前ノモノ(九七式重爆撃機ニ型ヲ除ク)ハ從來ノ例ニヨル

秘

陸密第三二五〇號

一地ニ二以上アル陸軍病院ニ收容スヘキ患者ノ部隊區分ノ件中改正ノ件達

陸軍一般

昭和十六年陸密第一七二三號中左ノ通改正ス

昭和十六年十月九日

陸軍大臣 東條英機

表中東京第二ノ項ノ次ニ左ノ如ク加フ

<p>表中仙臺第二ノ項ノ次ニ左ノ如ク加フ</p>	<p>立川 立川衛戍地所在ノ部隊(村山陸軍病院ニ收容スヘキ部隊ヲ除ク)</p>	<p>村山 高射砲第七聯隊 村山陸軍病院 陸軍航空整備學校 東京陸軍航空學校第二教育隊</p>	<p>岐阜 岐阜衛戍地所在ノ部隊(各務原陸軍病院ニ收容スヘキ部隊ヲ除ク)</p>
--------------------------	---	---	--

(甲)

秘

陸密第三一六八號

臨時郵便取締令ニ關スル件關係陸軍部隊へ通牒

昭和十六年十月十一日

陸軍省副官 川原直一

十月三日附勅令第八百九十一號ヲ以テ公布セラレタル首題ノ件ニ關シ郵便業務ヲ容易ナラシムル爲左記ノ通定メラレタルニ付依命通牒ス

追テ軍事郵便物所定ノ標示ヲ勵行シ或ハ差出人ノ居所氏名ヲ軍機上支障ナキ範圍ニ於テ明記スル等郵便物ノ差出ニ關シ一般ニ注意相成度申添フ

左記

十月二十日以降陸軍部隊(官衙、學校等ヲ含ム以下同シ)ヨリ差出ス外國(滿洲國ヲ除ク)宛ノ公用郵便物(軍事郵便物ヲ除ク)ハ左ノ各號ニ依ルコト

- 一、郵便物ノ外部差出人居所氏名記載場所ニ所在地及部隊名ヲ記載スルノ外其ノ下部左隅ニ部隊印ヲ捺スコト
- 但シ所在地、部隊名ハ軍機上支障ナキモノヲ使用スルコト
- 二、前號ノ部隊印ハ其ノ見本一部ヲ豫メ公文ヲ以テ關係郵便局ニ提出シ置クコト
- 三、郵便物ハ必ス關係郵便局ノ窓口へ差出スコト

陸軍

秘

陸密第三二一四號

(乙)

兵技下士官ノ特別補充ニ關スル件陸軍一般へ通牒

昭和十六年十月十六日

陸軍省副官 川原直一

當分ノ内兵技下士官ノ特別補充ニ關シ左記ノ通定メラレタルニ付依命通牒ス

追テ現ニ昭和十五年陸密第二九一九號ニ依リ教育中ノ者ハ同陸密ノ規定ニ依リ補充スヘキモノニ付爲念申添フ

左記

- 一、陸軍補充令第百一條第一項第三號ニ依ル兵技下士官ノ補充ハ在營二年以上ノ兵科(憲兵ヲ除ク)現役兵又ハ應召一年以上ノ豫備兵又ハ應召二年以上ノ補充兵ニシテ軍司令官ノ定ムルトコロニ依リ技術ニ關スル部隊(昭和十四年陸密第一三一八號參照)ニ於テ四月以上兵技下士官ニ必要ナル學術ヲ習得シタル者ヲ以テ之ヲ行フコトヲ得
- 前項ニ依リ補充セラレタル兵技下士官ノ爾後ノ服役ハ陸軍武官服役令第四十條ニ依ルモノトス
- 二、軍司令官ハ前號ニ依リ兵技下士官ヲ補充シタル場合ハ其ノ役種、工科區分及人員ヲ陸軍大臣ニ報告スルモノトス

114

陸軍

115

秘

陸密第三二四五號

昭和十六年徵集衛生兵ノ教育ニ關スル件達

陸軍一般

(甲)

昭和十六年徵集衛生兵ノ教育ハ昭和十六年陸機密第九六號ニ定ムルモノノ外左ノ部隊ニ於テ實施スルモノトス

昭和十六年十月二十日

陸軍大臣 東條英機

- 一、内地、朝鮮、臺灣ニ在ル部隊ニ屬スル者ハ夫々内地、朝鮮、臺灣ニ在ル軍隊及陸軍病院
- 二、滿洲國及關東州ニ在ル陸軍病院、關東軍防疫給水部及滿洲(關東州ヲ含ム)ニ直接入營スル部隊ニ屬スル者ハ關東軍司令官ノ定ムル部隊及陸軍病院、其ノ他ノ在滿部隊ニ屬スル者ハ別ニ定ム
- 三、現ニ支那ニ在ル部隊(將來他ニ轉用セララル部隊ヲ含ム)ニ屬スル者ハ夫々支那派遣軍總司令官及北支那方面軍司令官ノ定ムル部隊及陸軍病院但シ第十一軍隸下師團ニ屬スル者ハ内地ノ軍隊及陸軍病院
- 四、佛印ニ在ル部隊ニ屬スル者ハ内地ノ軍隊及陸軍病院

陸軍

秘

陸密第三二八九號

(甲)

北千島ニ在ル部隊ニ屬スル者ノ兵籍、文官名簿所管區分ニ關スル件陸軍一般へ通牒

昭和十六年十月二十五日

陸軍省副官 川原直一

北千島ニ在ル部隊ニ屬スル者ノ兵籍、文官名簿ハ陸軍兵籍規則第五條及陸軍文官名簿規則第四條ノ規定ニ拘ラス北
部軍司令部ノ所管ト定メラレタルニ付通牒ス

陸軍

117

秘

陸密第三四一六號

九九式防毒面(甲)假制式ノ件達

九九式防毒面(甲)ノ假制式別紙ノ通定ム
但シ之カ取扱ハ軍事秘密トス

昭和十六年十一月七日

陸軍一般

(甲)

陸軍大臣 東條英機

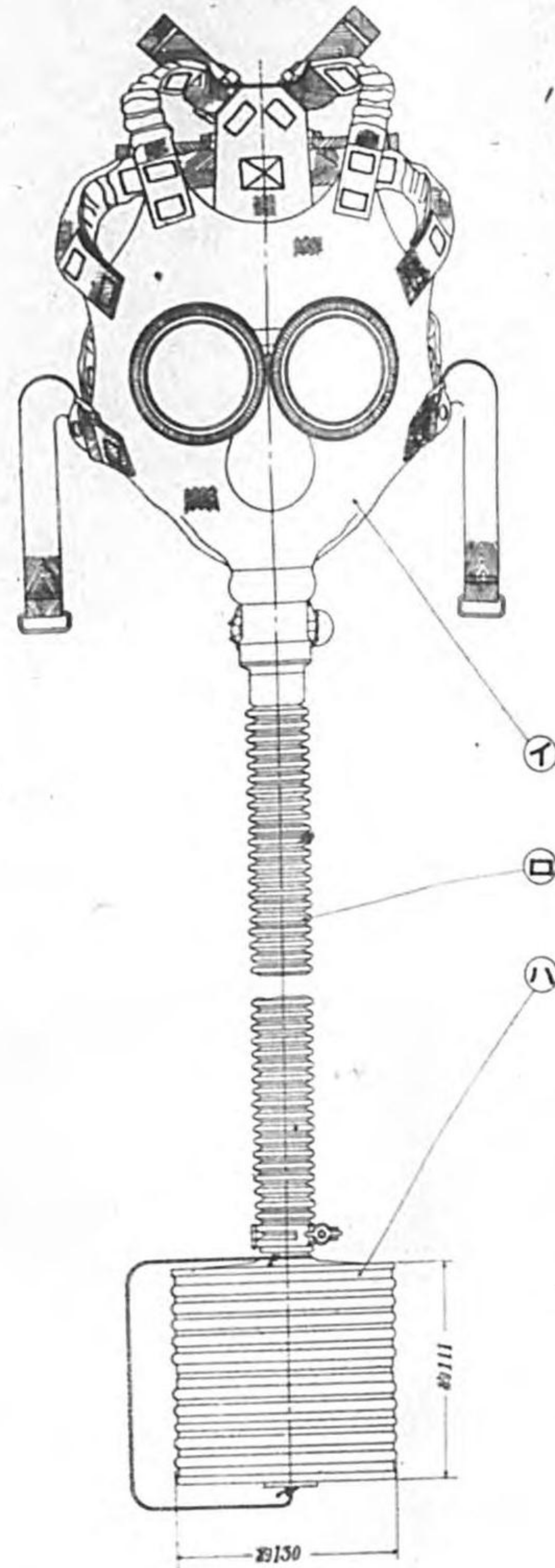
陸軍

九九式防毒面(甲)

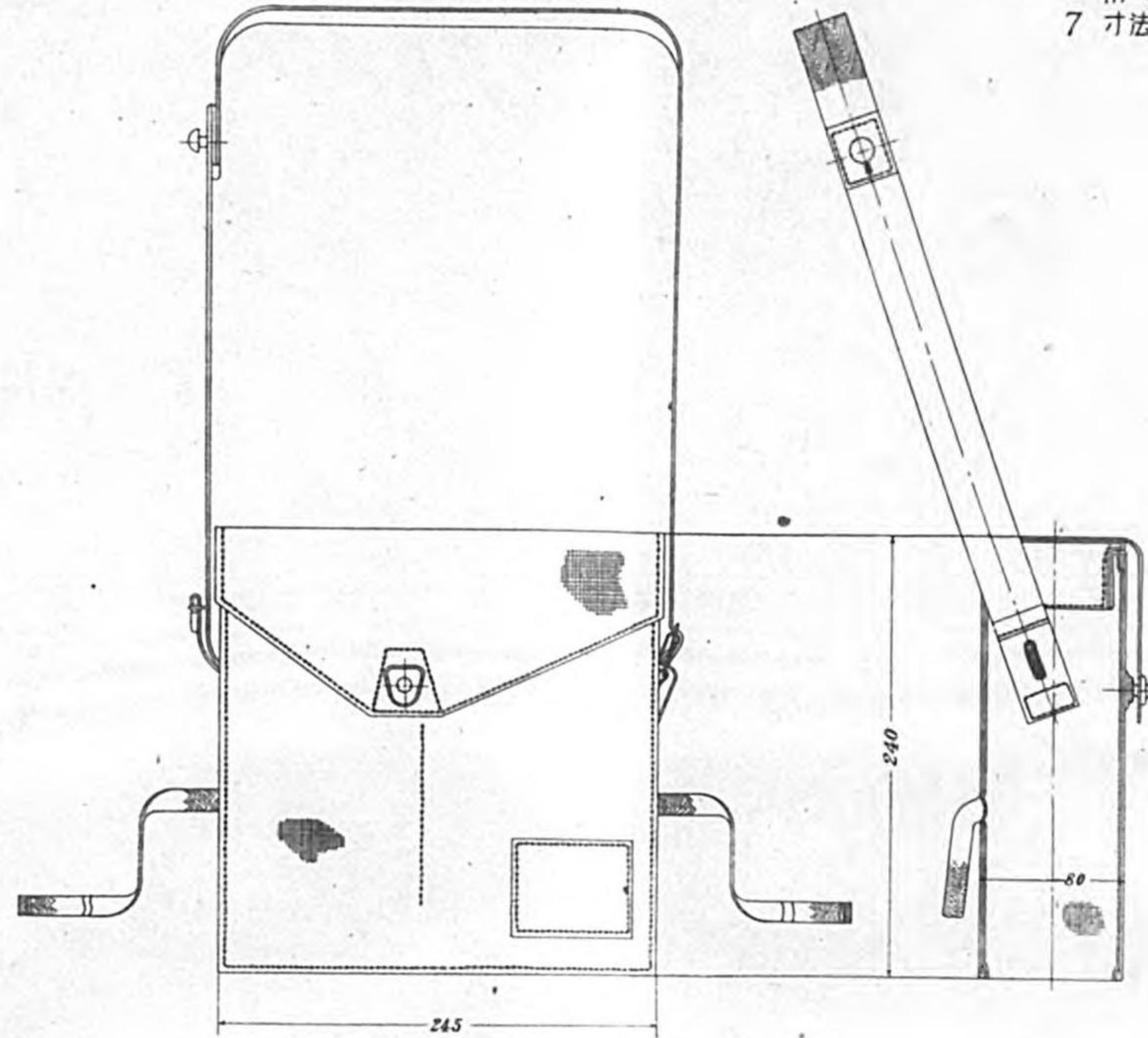
重量 約133kg(原品共)

- 註記 1. 本防毒面ノ一般用ト観測用トノ差異ハ覆面めがね及屬品疊止板匣トス但シ一般用ノモノハ観測用観測用ノモノハ一般用ノモノヲ附セザルモノトス。
 2. 寸法ヲ示サル部位ハ圖示ニ依リ一般製造技術ニ適應セシメ定ムルモノトス。
 3. アルミニウムハ軟質ヲ用フ。
 4. アルミニウムハアルマイト若クハ之ト同等以上ノ効力ヲ有スル酸化皮膜法ヲ施スモノトス。
 5. 金屬部外面ハ帶高茶褐色塗布部ハ帶高茶褐色染ム。
 6. 吸収罐ノ蓋ノ上面指定ノ位置ニ軍事秘密ノ標識ヲ附ス。
 7. 寸法ハ概トス。

本體



携帶袋



全體名稱	名稱	員數	描 要	重量 g
本體	イ 覆面	1		975
	ロ 連結管	1		
	ハ 吸収罐	1		
携帶袋		1		255

屬品表

名 稱	員數	描 要	重量 g
疊止板匣	1		100
不凍液筒	1		
隔 障	1		
手 入 布	1		

秘

陸密第三四三五號

陸軍大學校第五十五期學生ノ修學期間ニ關スル件達

陸軍大學校第五十五期學生ノ修學期間ハ約一年之ヲ短縮ス

昭和十六年十一月七日

陸軍一般

陸軍大臣 東條英機

(甲)

陸軍

秘

陸密第三四五七號

(甲)

年末賞與ニ關スル件達

陸軍一般

昭和十六年度年末賞與支給ニ關シ左記ノ通定ム

昭和十六年十一月十日

陸軍大臣 東條英機

左記

- 一 昭和十六年十一月三十日現在(十一月三十日ニ退職(待命、休職、停職、豫備役、退役、免官、免職、退官、退職、現役滿シタル者ヲ除ク)但シ十一月三十日ニ退職(待命、休職、停職、豫備役、退役、免官、免職、退官、退職、現役滿)當日又ハ翌日ヨリ引續キ陸軍部内ニ就職又ハ入隊(應召ヲ含ム以下之ニ同ジ)シタル者ハ此ノ限リニ在ラズ)ノ高等官以下(諸生徒、居住又ハ外宿ノ者ヲ除ク)充員召集及臨時召集(戰時教育ノ爲ニ特ニ召集期間ヲ示シテ陸軍大臣ノ命ニ對シ別紙要領ニ依リシタル臨時召集ヲ除ク以下之ニ同ジ)以外ノ召集中ノ者並ニ陸軍工務規程ノ適用ヲ受クル工員ヲ除ク)ニ對シ別紙要領ニ依リ各所管長官(陸軍大臣直屬ノ長官ニ於テ年末賞與ヲ給スルコトヲ得但シ一定ノ手當ヲ給セザル囑託員(外國ニ在勤スル者ヲ除ク)ニ付テハ眞ニ賞與支給ノ要アル者ニ限り嚴選ノ上當該所管長官別ニ其ノ賞與方ヲ申請スベシ
- 二 昭和十四年一月陸支普第二三九號第一條ニ依リ陸軍ニ於テ給與スル日本赤十字社救護員ニ對シテハ前號ノ規定ニ準ジ年末賞與ヲ給スルコトヲ得

陸軍

賞與支給要領

一年末賞與ハ左記區分ニ依リ給與ス

(イ) 軍人

別表第一ノ金額

(ロ) 文官同待遇者、囑託員、憲兵補、憲補、監獄看守、警査、雇員及傭人

雇員傭人給料支給規則備給表ニ掲グル傭人並ニ之ニ準ズル當時傭人ヲ謂フ但シ人夫ノ類ヲ

除クハ俸給(給料又ハ手當)月額(日給三十日分)本年十一月三十日ニ於ケル現給與額ニシテ加俸ニ對シ別表第二ノ割合

トス

朝鮮、臺灣、樺太、北千島、南洋群島、關東州及外國ニ在勤スル者ニシテ在勤加俸又ハ加俸或ハ戰時増給ノ支

給ヲ受ケザル者ニシテ豫メ在勤加俸又ハ加俸或ハ戰時増給ノ額ヲ加味シテ定メタル給料(手當)ノ支給ヲ受クル

者ハ其ノ給料(手當)額ヨリ在勤加俸又ハ加俸或ハ戰時増給ニ相當スル額ヲ減ジタル額ヲ以テ前項ノ俸給(給料

又ハ手當)月額トス

(ハ) 本年九月以降任官又ハ新任採用ノ者 陸軍ニ在職中ノ囑託員又ハ雇員等ヨリ文官同待遇者ニ任ゼラレタル者、判任官同待

遇者ヨリ高等官同待遇者ニ任ゼラレタル者及下士官以上ノ軍人若ハ營外居住(外

宿ヲ含ム)ノ兵又ハ陸軍部内ノ軍人以外ノ者ニシテ退職(持命、休職又ハ停職中退職) 並ニ充員召集若ハ臨時召集ニ依リ

シタル者ヲ除ク)ノ當日又ハ翌日ヨリ引續キ陸軍部内ニ就職又ハ入隊シタル者ヲ除ク 並ニ充員召集若ハ臨時召集ニ依リ

召集セラレタル者又ハ待命、休職若ハ停職ヨリ復職シタル者及現役憲兵兵長、軍樂上等兵、憲兵補若ハ憲補ヲ

命ゼラレタル者ニ對シテハ其ノ割合ヲ半減シタル額トス

二 陸軍部内ノ在職者ニシテ陸軍召集規則第二條ニ依ル召集中ノ者ニ對シテハ召集前ノ身分ニ應ズル給與ヲ爲スモ

ノトス但シ充員召集若ハ臨時召集ニ依リ召集セラレタル者ニ對シテハ召集後ノ身分ニ應ズル別表ノ額ヲ召集前ノ

身分ニ依リ算定シタル額ヨリ多キトキハ其ノ差額ヲ加ヘタル額ヲ支給スルモノトス

三 軍人以外ノ者(高等官同待遇者ヲ除ク)ニ對スル賞與ハ各所管毎ニ別表第二ノ賞與率ニ依リ豫算ノ款項毎ニ其ノ賞與シ得ベキ總人員ニ對シ區分算定シタル總金額ヲ超過セザルヲ度トシ其ノ各自ノ賞與額ハ本年六月以降ニ於ケル勤務ノ成績、業務ノ繁閑及勤務日數ノ長短ヲ顧慮シ第一號ノ制限ニ拘ラズ適宜増減スルコトヲ得但シ一人ノ賞與額ハ別表第二ノ賞與率ニ依リ算定シタル金額以外ニ其ノ金額ノ五割以上ヲ増給スルコトヲ得ズ

四 賞與額ニシテ圓位未滿ノ端數ヲ生ジタルトキハ圓位ニ切り上げ支給スルモノトス

五 本達賞與ハ十一月三十日受給者現在ノ部隊(但シ陸軍部内在職中召集セラレタル者ニシテ兵ノ階級ニ在ル者ハ應召前ノ部隊)ニ於テ給與スルモノトス但シ外國ニ在勤スル者(止ムヲ得ザル事由ニ基ク者ヲ除ク)ニ對シテハ留守宅渡ヲ爲スベキモノトス

陸軍部内在職中召集セラレタル者(兵ノ階級ニ在ル者ヲ除ク)ニ對シテハ在職部隊ヨリ應召前ノ身分ニ應ズル賞與額ヲ現所屬部隊ニ通報シ現所屬部隊ハ應召後ノ身分ニ應ズル賞與額トヲ比較シ支給額ヲ決定ノ上留守宅渡ノ手續ヲ爲シ又ハ現所屬部隊ニ於テ給與スルモノトス

六 所管長官ニ在リテモ本達ニ依リ給與ヲ受クベキモノトス

七 勤勉手當ヲ受クル業務ニ従事スル者ニ對シテモ本達ニ依リ賞與スルコトヲ得

八 本達賞與受給者(外國ニ在勤スル者ヲ除ク)ハ別表第三ノ公債買入標準額ニ相當スル公債ヲ買入ルモノトス但シ已ムヲ得ザル事由アル者ニ對シテハ所屬長官ニ於テ之ヲ減免スルコトヲ得

前項ノ公債ハ出納官吏又ハ之ニ準ズル者ニ於テ取纏メ之ヲ買入レ現金支給ノ形式ニ依リ賞與受給者ニ交付スルモノトス但シ賞與支給ト同時ニ公債ヲ交付シ得ザル場合ニ在リテハ公債買入額ヲ控除シタル賞與金額ニ依リ賞與ヲ支給整理シ公債交付ノ際更ニ公債買入額ニ依リ現金支給整理ヲ爲スモノトス

九 本達賞與ノ支出科目區分、豫算、報告等ハ左記ニ依ルモノトス

(イ) 本賞與ハ特ニ示スモノノ外令達豫算ノ範圍内ニ於テ給與スルモノトシ其ノ支出科目ハ本年十一月受給者ノ俸給(給料又ハ手当)ト同一款項ヨリ支辨(昭和六年十一月陸普第四八二一號通牒參照)スルモノトス

(ロ) 軍事費俸給並ニ雜給及雜費支辨ニ屬スルモノノ本賞與支給ノ爲ニ要スル經費ハ別途増額スベキニ付其ノ所要額及豫算不足額ヲ速カニ陸軍省經理局主計課長宛電(通)報スルモノトス

(ハ) 繼續費ニ屬スル臨時部各科目ノ本賞與支給ノ爲ニ要スル經費ハ賞與及給與ノ片算額ニ基キ各項毎ニ左ノ目別ニ豫算過不足額ヲ陸軍省經理局主計課長宛電(通)報スルモノトス

俸給及賞與、事務費中ノ非制限費途及給與

(ニ) 臨時軍事費中人件費支辨ニ屬スルモノノ本賞與支給ノ爲ニ要スル經費ハ實費額ニ依リ増額ス

(ホ) 陸軍東京經理部長ヲ支出官トスル臨時軍事費支辨ニ屬スル賞與ニ係ル請求書ニハ單獨ニ支拂請求票ヲ附シ「年末賞與」ノ旨朱書註記スルモノトス

(ヘ) 豫算整理其ノ他ノ調査ノ爲支給後十日以内ニ別表第四、第五様式ニ依ル調書ヲ豫算令達部局毎ニ調製(隸下部隊ノ分ハ之ヲ取纏メ集計シ調製ス)シ陸軍省經理局主計課長宛提出スルモノトス

軍人以外ノ者ニ對スル賞與率表

考 備	雇 員、 傭 人	高等文官同待遇者 判任文官同待遇者、囑託員、憲兵補、憲補、監獄看守、警査、日本赤十字社救護員	區 分 家 族 數	
			父母及子ナキモノ	父母及子アルモノ 參人迄 四人以上
<p>一 本表ノ父母及子トハ受給者ト同一戸籍(之ニ準ズルモノヲ含ム)内ニ在リテ現ニ之ガ扶養ヲ受ケアル左記ノ者ヲ謂フ</p> <p>1 滿六十歳以上ノ父母(受給者ガ戸主又ハ法定ノ推定家督相續人ニシテ且父母ノ收入月額拾五圓未滿ナル場合ニ限ル)</p> <p>2 滿二十五歳未滿ノ子(受給者ノ俸給月額參百圓以上ノ者ニ在リテハ就職シアル子ヲ除ク)</p> <p>二 前號ノ家族數ハ受給者ヲシテ申告セシムルモノトス</p> <p>三 明治三十七年勅令第二十三號ニ依リ待遇ヲ附與セラレタル者ノ賞與率ハ各其ノ本來ノ身分ニ依ルモノトス</p>	<p>貳拾貳割以内</p> <p>貳拾五割以内</p> <p>貳拾七割以内</p>	<p>貳拾壹割以内</p> <p>貳拾四割以内</p> <p>貳拾六割以内</p>	<p>貳拾割以内</p> <p>貳拾參割以内</p> <p>貳拾五割以内</p>	<p>貳拾參割以内</p> <p>貳拾四割以内</p> <p>貳拾五割以内</p>

別表第三

公債買入標準額表

賞與受給額	公債買入標準額
一〇〇圓以下	賞與受給額ノ一五%相當額
二〇〇圓以下	二〇%同
三〇〇圓以下	二五%同
五〇〇圓以下	三〇%同
五〇〇圓ヲ超ユルモノ	三五%同

備考

- 一 公債買入標準額(賣出價格トス)ハ夫々最低標準額ヲ示ス
- 二 公債ハ支那事變國債、貯蓄債券又ハ報國債券ヲ最寄郵便局又ハ取扱銀行ニ於テ買入ルルモノトス

昭和十六年年末賞與家族別支給額調書

豫算令達部局名

合 計	工 員	備 人	雇 員	嘱 託 (係給支辨 者ヲ除ク)	計	營外 居住兵	判 任 官		高 等 官		區 分
							文 官	武 官	文 官	武 官	
							賞與支給額	支給人員	賞與支給額	支給人員	
賞與支給額	支給人員	賞與支給額	支給人員	賞與支給額	支給人員	賞與支給額	支給人員	賞與支給額	支給人員	父母及子 ナキモノノ 人	
										父母及子アルモノ 人	
										四人以上 人	
										計 人	
										備考	

製表上ノ注意

- 一 本表ハ軍事費、臨時軍事費ニ付調査スルモノトシ各別紙ニ調製スルコト
- 二 本表ノ合計金額ハ別表第四ノ軍事費、臨時軍事費金額合計ニ符合スルモノトス
- 三 本表中ニハ待遇官吏ノ分ヲモ包含セシムルコト
- 四 判任(武官)、營外居住ノ兵中ニハ外宿者ヲ含マシムルコト
- 五 嘱託、雇員ニシテ昭和二年陸普第一八七三號ニヨリ給料(手當)ヲ奏任又ハ判任俸給ヨリ支給ヲ受クルモノハ奏任又ハ判任文官ノ欄ニ計上シ共ノ人員金額ヲ摘要欄ニ明記スルコト

秘

陸密第三四五八號

年末賞與特別増加ニ關スル件達

陸軍一般

(甲)

本年十一月陸密第三四五七號達ニ依リ年末賞與ヲ給セラレタル者ニシテ本年四月一日以降十一月三十日迄ノ間ニ於テ左記職務ニ服スル者(陸軍給與令細則第六條ニ依リ加給俸ノ支給ヲ受クル者ヲ除ク)ニ對シ此ノ際特ニ隊長トシテ修養ノ爲各所管長官ハ右年末賞與ノ特別増加トシテ其ノ勤務月數(一箇月未滿ノ端日數ハ切捨ツ)ニ應ジ月額拾圓ノ割合ヲ以テ八箇月分以內ヲ別ニ支給スルコトヲ得但シ入學、分遣等ノ事由ニ因リ隊長トシテ實際ノ職務ニ服セザリシ月並ニ外國(滿洲國ヲ除ク)ニ在リテ陸軍戰時給與規則ニ依リ戰時増給ノ支給ヲ受ケタル月ニ對シテハ本賞與ヲ支給セズ

昭和十六年十一月十日

陸軍大臣 東 條 英 機

左記

軍隊

補充隊長(之ニ準ズベキ隊長ヲ含ム)、大隊長、中隊長、機關銃隊長、步兵砲隊長、連射砲隊長、山砲兵隊長、騎砲兵隊長、高射砲隊長、戰車隊長、輕裝甲車隊長、通信隊長、無線隊長、無線情報隊長、道路隊長、材料廠長、國境守備隊(地區隊)步兵隊長、國境守備隊(地區隊)砲兵隊長、國境守備隊(地區隊)工兵隊長、飛行戰隊整備隊長、教育

陸軍

120

隊長、訓練所長、教習所長、下士官候補者隊長
前記隊長ノ職務ヲ代理スル者但シ當該隊長ノ缺員又ハ入學、分遣等ニ依リ三箇月以上其ノ職務ヲ代理シタル場合ニ
限ル

秘

陸密第三五三七號

陸軍技師、陸軍技手ヨリ技術部將校ニ任セラレタル者ニ對スル補備教育ニ關スル件達

陸軍一般

(甲)

陸軍技師、陸軍技手ヨリ技術部將校ニ任セラレタル者ニ對シ別紙要領ニ據リ補備教育ヲ實施スヘシ

昭和十六年十一月十七日

陸軍大臣 東條英機

陸軍

陸軍技師、陸軍技手ヨリ技術部將校ニ任セラレタル者ニ對スル補備教育要領

一 教育ノ目的

本教育ノ目的ハ陸軍技師、陸軍技手ヨリ技術部將校ニ任官セル者ニ對シ特ニ堅確ナル軍人精神ヲ涵養シ嚴肅ナル軍紀ニ慣熟セシムルト共ニ將校服務ノ要諦ヲ會得セシメ且軍事ニ關スル一般常識ヲ附與シ以テ技術部將校タルニ須要ナル資質ヲ向上セシムルニ在リ

二 教育擔任官(部隊)

教育擔任官ハ當該所屬長官トシ同官ハ適宜教育實施部隊(者)ヲ定メ本教育ノ實施ニ當ラシムルモノトス
前項教育擔任官ハ教育計畫ヲ陸軍大臣ニ報告スルモノトス

三 被教育者

被教育者ハ昭和十六年四月陸軍省令第一〇號ニ據リ陸軍技師、陸軍技手ヨリ技術部將校ニ任セラレタル者トス
但シ任官時既ニ將校タルノ身分ヲ有シアリタル者ヲ除クモノトシ現ニ陸軍技師、技手ニシテ技術部將校タルコトヲ志願シアル者中所要ノモノヲ參加セシムルコトヲ得

四 教育期間

教育期間ハ概ネ二月トシ昭和十七年三月末迄ニ適宜ノ時期ヲ選定シ實施スルモノトス

五 教育事項

教育ノ課目及内容ハ各部隊ノ特性並ニ被教育者ノ職責及階級等ヲ顧慮シ選定スヘキモ概ネ附表教育課程基準表ニ

據り實施スルモノトス

六 經 費

本教育實施ノ爲要スル經費ハ一般會計特別會計支辨部隊ニ在リテハ軍事費臨時軍事費支辨部隊ニ在リテハ臨時軍事費ノ支辨トシ特ニ要スル經費ニ限り増額ス
但シ演習費ニ在リテハ被教育者一名ニ付五十圓以内トス

教育課程基準表

課目	摘要
精神教育	特ニ勅諭ノ精神ヲ徹底セシメ堅確ナル軍人精神ヲ涵養セシムルト共ニ建軍ノ本義、統帥ノ要道ニ付深刻ニ理解セシメ且嚴肅ナル軍紀ニ慣熟セシム
服務及内務	軍隊内務ノ本旨ヲ理解體得セシムルト共ニ將校服務ノ要諦ヲ會得セシメ特ニ命令ニ對スル絕對服從カ軍紀ノ要道タルコトヲ徹底セシム
軍制學	軍制就中兵器勤務ニ關係アル事項ニ就キ其ノ概要ヲ會得セシム
陸軍禮式	陸軍禮式令ノ概要ヲ會得セシメ特ニ敬禮ハ嚴正ニ實施シ得シムルト共ニ其ノ嚴正ナルヲ要スル所以ヲ理解セシム
作戰要務令	作戰要務令ノ概要特ニ補給ノ要領ヲ知得セシム
各隊教練	徒手教練トシ其ノ要領ヲ會得セシム 特ニ小部隊ノ指揮要領ヲ會得セシム
體操	體操教範ニ依リ實施ス
劍術	軍刀術ノ要領ヲ會得セシム
射擊	主トシテ小銃、拳銃射撃ヲ行フ
衛生法、救急法	衛生法ノ概要及救急法ノ要領ヲ會得セシム
備考	一 本教育ニ方リテハ職責階級等ニ應シ要スレハ適宜課目及程度ヲ斟酌スルモノトス 二 本表ノ外勉メテ最寄ノ部隊、實施學校等ニ於ケル關係演習ニ參加セシメ野外兵器勤務ヲ體得セシムルモノトス